

始



秘

防
諜

岐阜市勢要覽

昭和十五年版

紀元

2 6 0 0

岐 阜 市

防
諜

秘

岐 阜 市 勢 要 覽

昭和十五年版

紀 元

2 6 0 0

岐



市



國幣小社
伊奈波神社



14
1138



岐阜市徽章

岐阜市は往古「井の口」と
稱したるに因み、明治四
十二年八月上記の如き紋
章を以つて市徽章とする
ことに決めらる。

目 次

岐阜市域 擴張の趨勢		乳幼兒死亡…………… ^頁 10
岐阜市沿革		組 合
市 政		組 合……………11
議決機關…………… ^頁 3		岐阜市の生産額……………12
執行機關……………3		農 業 水産業
分課組織……………4		耕地面積……………13
土地及建物		農家戸數……………13
位 置……………6		農 産 物……………14
地 勢……………6		水 産 業……………14
面 積……………6		工 業
土 地……………7		工業概観……………15
氣 象		重要事業別工場従 業員數及生産額……………16
氣溫及降水量……………7		勞働賃銀……………17
人 口		商 業
昭和十五年七月一 日現在岐阜市人口……………8		岐阜市商業調査……………18
職業別戸口……………9		倉庫出入貨物……………19
人口動態……………10		集散貨物品種別……………19

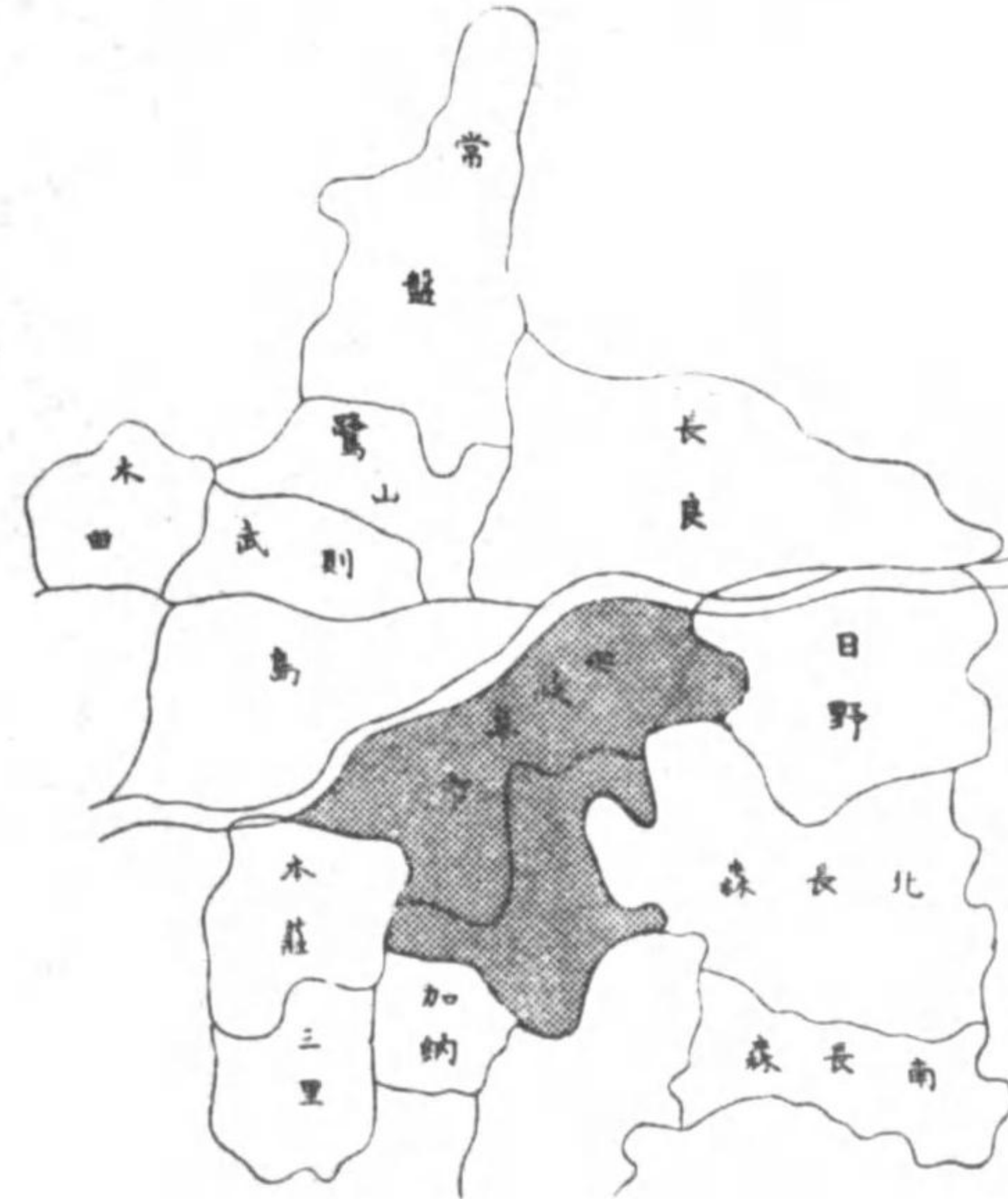
品種別輸出額	頁	20
卸賣物價	頁	20
小賣物價	頁	21
岐阜商工會議所	頁	22
會 社		
會社概觀	頁	22
資本金	頁	23
金 融		
金融概觀	頁	24
信託財產運用別	頁	25
郵便貯金	頁	25
交 通		
交通概觀	頁	26
道 路	頁	27
諸 車	頁	27
通 信	頁	28
社 會 事 業		
社會事業概觀	頁	29
軍事援護事業	頁	29
社會教化事業	頁	31

經濟保護事業	頁	32
教 育		
校園教育概觀	頁	34
學齡兒童	頁	35
中等學校	頁	35
專門學校	頁	36
教育費	頁	37
青年團	頁	37
警 備		
消防機關	頁	38
警 防 團	頁	39
衛 生		
上 水 道	頁	40
下 水 道	頁	41
塵芥及汚物	頁	43
傳染病	頁	44
治療機關	頁	45
財 政		
財政概觀	頁	45
昭和十五年度豫算	頁	46

昭和十三年度決算	頁	48
市有財產	頁	49
市 債	頁	49
市 稅	頁	50
選舉及市職員		
議 員	頁	51
選 舉	頁	51
市 職 員	頁	51
市會議員	頁	53
市營事業概要		
上 水 道	頁	55
下 水 道	頁	56
都市計畫	頁	58
教育施設	頁	62
衛生施設	頁	67
產業施設	頁	69
社會事業施設	頁	81
附 錄		
市内の名所舊蹟	頁	1
岐阜市施設一覽	頁	9

官公衙公共施設	頁	11
組合一覽	頁	13
會社、工場	頁	29

市域擴張の趨勢



舊岐阜市		10,0方杆
編入年次	面積	
昭和六年四月一日	方杆	8,708
昭和七年七月一日		12,122
昭和九年十二月五日		7,017
昭和十年六月十五日		5,829
昭和十五年二月十一日		4,818
昭和十五年七月一日		17,836
現在		66,380

岐阜市沿革

岐阜は往古「井の口」の里と稱し金華山(稻
葉山)の西麓、長良川の清流を擁し西南に濃
尾の大平原を控へて居る。古より濃尾の首都
として注目せられ遠く成務天皇の御代此の地
方に三野國道國造の置かれしは其の一例であ
る。中世に至り土岐、齋藤、織田の諸氏は此
の地に據りて覇を争つたが是等諸氏の築城に
依つて成れる城下町が今日の岐阜市の淵源を
なすものである。井之口の里が織田信長に依
つて岐阜と改稱せられて以來城下町として著
しく發達したが關ヶ原の一戦を契機として商
業都市として發展を見るに至つた。即ち政權
が徳川氏に移つてよりは幕府は此の地に代官
を置き其の直轄とし後尾張藩の管下に移し岐
阜奉行を置いて支配せしめ住民の政治意識を
抑へ町人としての經濟的發達を遂げしむ
るために努めた。斯くして明治維新の變革に
際し三百年來蓄積せられたる經濟的潛勢力は

本市をして今日縣下商工業界の先進的地位を占めしむるの基礎を作つたのである。明治四年廢藩置縣の際笠松縣に屬したが同年笠松縣を廢し岐阜縣と改め明治六年縣廳所在地と定められてよりは縣下政治の中心地となつた。爾來國運の隆昌に伴ひ市勢次第に伸張し明治二十二年七月一日市制實施せられ、昭和六年四月日野、本莊、昭和七年七月長良、昭和九年十二月島、昭和十年六月三里、鷺山、近く昭和十五年二月加納、則武、同年七月更に木田、常盤、南、北長森の隣接一町十一ヶ村を合併し、かくて岐阜市は面積六十六平方軒、人口十八萬四千を容する本邦中部に於ける名實共に樞要都市たるの地位を占むる大岐阜市と成る。

市 政

岐阜市は市制に基き自治行政を行ひ市民の福利増進を圖る自治團體であるから、その機關としては市民を代表し市の意思を決定する

議決機關とその決定に基いて仕事をする執行機關とがある。

議 決 機 關 議決機關としては市會及市參事會がある。市會はその構成から見れば市住民の代議會にして市會議員は市公民より選出せられ市の自治行政に當つてゐる。その任期は四年で現在の定員は40人である。市會は市の重要な事項を決定するものであるから、市會を構成する議員の適否は、直ちに岐阜市政の消長、市民の利害休戚に關するところが洵に大きい。

市參事會は市會の副議決機關で主として市會の委任により市の仕事を決定する。市長之が議長となり、市參事會員10人を以て組織されてゐる。市參事會員は市會議員中より市會が隔年これを選擧する。

執 行 機 關 市の執行機關は市長にして、市長の下に市長の補助機關たる助役の外主事、技師、其他多數の職員があり、又市の出納其の他の會計事務を掌る爲め

に収入役がある。

尙現松尾市長は本市が純自治制となつた當時の初代市長、熊谷孫六郎氏から六代目に當つてゐる。

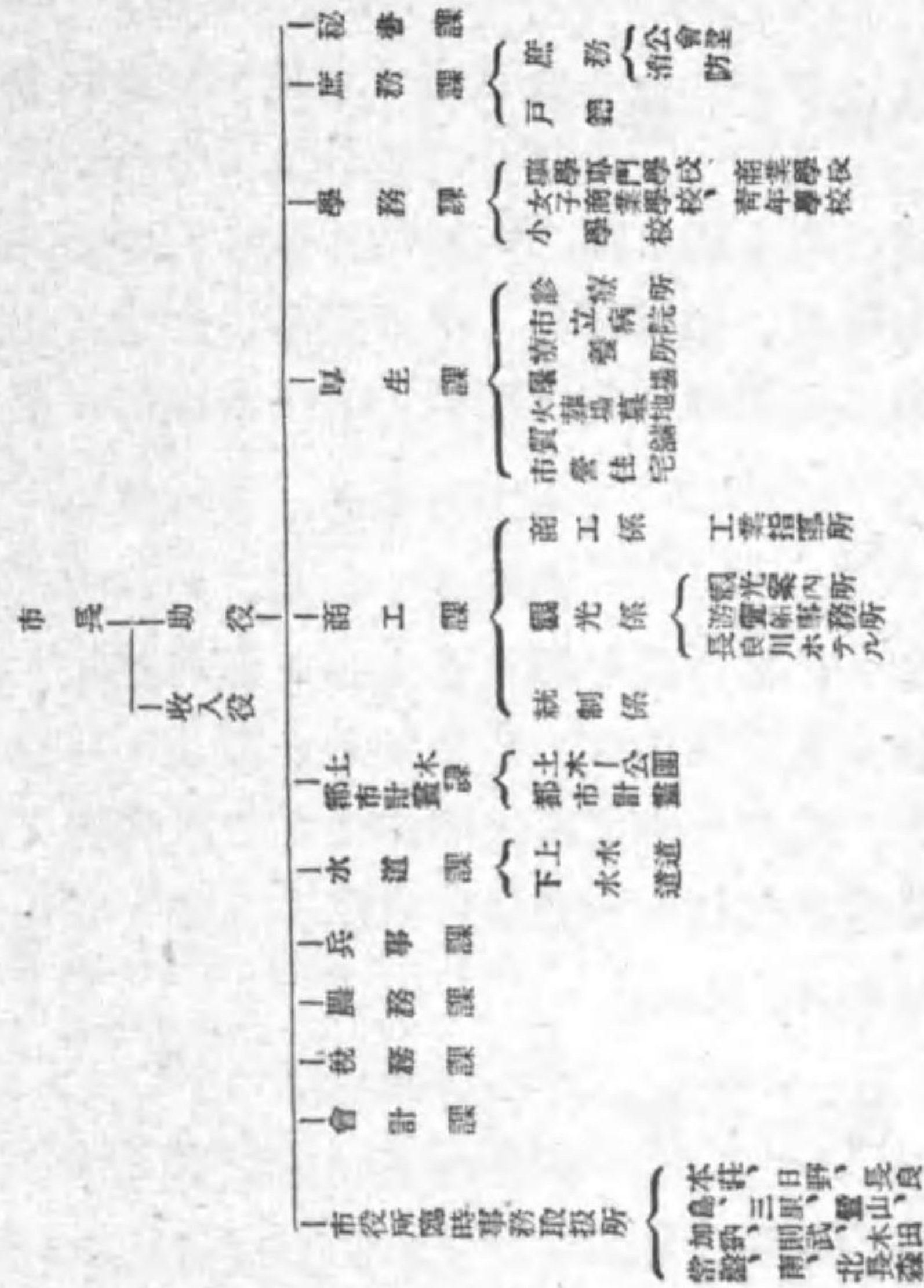
順位	氏名	退職年月日	就任年月日
1 代	熊谷孫六郎	明治 26. 5	明治 22. 7
2 代	堀口有一	41. 2	26. 7
3 代	服部正	大正 10. 6	41. 4
4 代	堀千尋	11. 7	大正 10. 7
5 代	九茂藤平	13. 4	11. 9
6 代	松尾國松	現在	14. 3

以上の外尙各種の委員及調査會等があつて本市の行政を助けてゐる。

分課組織 本市は市政の圓滑なる運営を期する爲めに市長の下に11課

及其の他廳を設けてゐる。職制を表示すると次の通りである。

分課組織



、 土地及建物

位置 岐阜市は東經 136度 45分乃至 48分北緯35度27分乃至30分の間にあり岐阜縣の南西部に位す其の境界北は山縣郡、稻葉郡に、南は羽島、稻葉の兩郡に東は稻葉郡に西は稻葉、本巢の兩郡に接す。

地勢 本市の地勢は北部及東北部は山地多く、南、西一帯は平坦なり、其の源を郡上郡大日ヶ嶽阿彌陀ヶ瀧に發する長良川は市の中部を北東より西南に貫き、沿岸一帯は風光明媚にして水利觀光施設整備せられ本市發展に貢獻する處大なるものあり。

面積 本市の總面積は 66.38 方軒廣袤東西 10.4 軒、南北 9.5 軒にして明治二十二年七月市制施行當初の本市面積 10方軒と比較すれば 6.6 倍強に達し、其間に 1町11ヶ村を合併市域に編入す。

土 地

昭和十五年度 1町、4村の合併に依り有租地面積及賃貸價格は下記の通りにして面積に於て前年度に比し79%賃貸價格に於て22%の各増加を示す。

無租地	2,553		
有租地	51,941		
		面積	賃貸價格
		段	円
		16,086	350,997
		12,792	261,037
宅地	7,755		2,304,791
山林	14,607		26,949
原野	503		637
其他	198		1,561
計	51,941		2,945,972

氣 象

氣溫及降水量 本市の氣候は概ね溫和にして昭和十四年中に於ける氣溫及降水量は下表の通りにして、東京、大阪の都市と大差なく唯降水量は約五割程度多量である。

(昭和十四年)

都 市	氣 温(平均)攝氏度				降 水 量(平均)耗			
	1 月	4 月	7 月	10 月	1 月	4 月	7 月	10 月
	岐 阜	3.0	12.8	25.5	16.2	70.8	195.3	259.5
東 京	3.1	12.6	24.3	16.0	52.0	133.8	132.3	199.8
大 阪	4.2	13.2	26.2	17.1	45.1	136.7	150.6	126.8
青 島	15.2	20.7	28.2	22.9	90.3	167.0	229.2	116.7
京 城	4.7	10.6	24.6	13.1	24.8	79.7	376.7	39.9
新 京	16.8	6.5	23.5	6.7	6.2	21.9	177.7	38.7
北 京	4.2	13.0	26.6	14.1	3.6	13.7	175.2	14.4
上 海	3.6	13.6	27.5	18.0	45.9	92.4	132.8	39.8

人 口

昭和十五年 同日現在本市世帯数は
七月一日現在人口 34,950戸、人口183,278
人にして岐阜縣總人口(14年推定)1,261,500人
に對し14.5%に當り。尙本邦 152 都市中人口
に於て第二十六位を占むることとなる。市制
施行當時の人口、戸數に比較すると何れも75
割以上の飛躍的增加を示し本市發展の經路を
如實に物語るものである。昭和五年以降の膨
脹率を表はせば下表の通りである。

年 度	世 帯	人 口			一 世 帯 平均人口
		總 數	男	女	
昭和 15.7	戸 34,950	人 183,278	人 87,651	人 95,627	5.2
14	28,032	141,150	67,939	73,571	5.0
13	27,550	138,737	66,443	72,294	5.0
12	27,115	136,882	65,315	71,567	5.0
11	26,723	132,922	63,322	69,600	4.9
10	25,941	128,489	61,848	66,641	4.9
5	18,996	90,018	42,992	47,026	4.7

※十五年ノ急激増加ハ加納町、則武村、(二月)及木田、常盤、南長森、北長森ノ四ヶ村(七月)合併ニ依ル

職業別戸口 (昭和十四年十二月末現在)

業 別	戸 數	人 口	比 率
總 計	34,840	180,618	100.
農 業	3,901	22,009	11.2
水 産 業	45	230	0.1
礦 業	29	153	0.09
工 業	9,044	51,424	26.0
商 業	11,527	57,358	33.0
交 通 業	1,554	7,570	4.4
公 務 業	3,963	19,214	11.4
自 由 業	1,584	7,458	4.6
家 事	1,584	7,458	4.6
其 他ノ業	2,008	9,696	5.8
無 業	1,180	5,506	3.4



人口動態 昭和十四年中の本市人口動態は婚姻1,268組、離婚110組、出生3,020人、死産203人、死亡2,040人にして人口自然増加は980人に達し又一日平均出生数は8.3人死亡数5.6人となる。昭和十年以降の比較を示せば下記の通りである、(昭和十二年の婚姻数の激増は支那事變の影響に依るものと思料せらる)

	婚姻	離婚	出生	死産	死亡
昭和十四年	組 1,268	組 110	人 3,020	人 203	人 2,040
十三年	1,412	135	2,907	194	2,138
十二年	2,007	126	3,354	233	2,280
十一年	1,474	137	3,113	214	2,323
十年	1,368	135	3,283	207	2,083

乳幼児死亡 本市調査に依る昭和十四年中の乳幼児死亡数は男286人、女305人、合計591人にして死亡總數に對する割合は27%に當る、前年に比較すれば1.5%

の低下であるが他都市に比し香しからざる統計數字なるを以つて官民協力生めよ殖せよの國策に適合すべく充分なる認識を希望するものである。

乳幼児死亡の主なる原因

總數	人	100
先天的弱質	131	(22%)
肺炎	88	(14.8%)
下痢及腸炎	40	(6.7%)
麻疹	15	(2.5%)
ビタミン缺乏症	52	(8.8%)
氣管支炎	28	(4.7%)
扁桃炎	44	(7.5%)
百日咳	18	(3.0%)
其他	175	(30.0%)

組合

昭和十五年八月現在の組合數は次表の如く最近事變後數ケ

年間に於ける組合結成状況を見るに、同業組合は異動なく新興の商業、工業組合は時勢の要求に従ひ、飛躍的發達を示しつつあるは特筆に値する。

昭和十五年八月現在調 (昭和12年ヲ100トス)

年次	商業組合	工業組合	輸出組合	同業組合	産業組合	計	前年對比
昭和15年	66	48	1	4	17	136	367%
14	38	26	1	4	12	81	219
13	23	16	1	4	11	55	148
12	13	9	1	4	10	37	100

岐阜市の生産額

本市の生産部門を觀るに事變前と比較し、109%の激増振りを示す、以下五ヶ年の経過を表すと次の通りである。

年次	工業	農産	畜産	林産	水産	鉱産	總額
昭和10年	49,556,570	833,584	430,787	8,154	221,312	4,808	51,055,215
11	55,098,665	1,328,866	435,320	8,664	228,425	67,920	57,167,860
12	57,411,538	1,267,883	285,648	7,759	191,477	64,359	53,238,656
13	59,724,414	1,206,900	155,977	6,855	154,529	60,798	61,309,473
14	103,904,176	2,279,802	311,469	38,752	158,604	62,718	106,755,521

農業及水産業

耕地面積 加納、則武、常盤、南、北長森、木田、の1町5村の市編入に依り前年度に比し耕地面積は著しい膨脹を示し戦時下食糧政策に順應、新指導の許に益々増産に拍車を掛けてゐる。

	町	増加率
田	1,448.4	(103%)
畑	1,288.2	(65%)
山林	1,328.3	(190%)

農家戸数 新市部編入に依り市内農家戸数は5,870戸に達し人口も一

躍 32,929人に上る。農家一戸の平均耕作面積は4.7段に當る。

農 産 物 昭和十四年中の本市（新市都を含む）農産物總価格は2,279,802圓にして其内譯を示せば下表の如くである。

品 種	作 付 段 別	價 格	主 ナ ル 農 産 物
米	14,009	1,591,105	米
麥	10,226	332,871	大麥,小麥
食用農産物 園藝農産物	1,130	69,134	{大豆,小豆,粟,黍,トウモロコシ,甘藷, 馬鈴薯,蕎麥,等
蔬菜類	3,417	135,967	{大根,カブラ,豌豆,蠶豆,木瓜,南瓜,ナ ス,人蔘,牛蒡,里芋,レンコン
果樹其他	—	150,725	柿,葡萄,トノキビ,レンゲ種子
計	28,782	2,279,802	

水 産 業 昭昭十四年中の本市水産業の概要は下記の通りである。

年 次	業者數	被催者數	沿岸漁獲物金額	水産養殖價格	水産製造物價格
昭和14年	189	40	56,089	—	102,515
前 年	193	36	56,794	75	97,660

工 業

工業概観 岐阜市は爾來工業都市として伸びるべき素質を具備してゐる。即ち

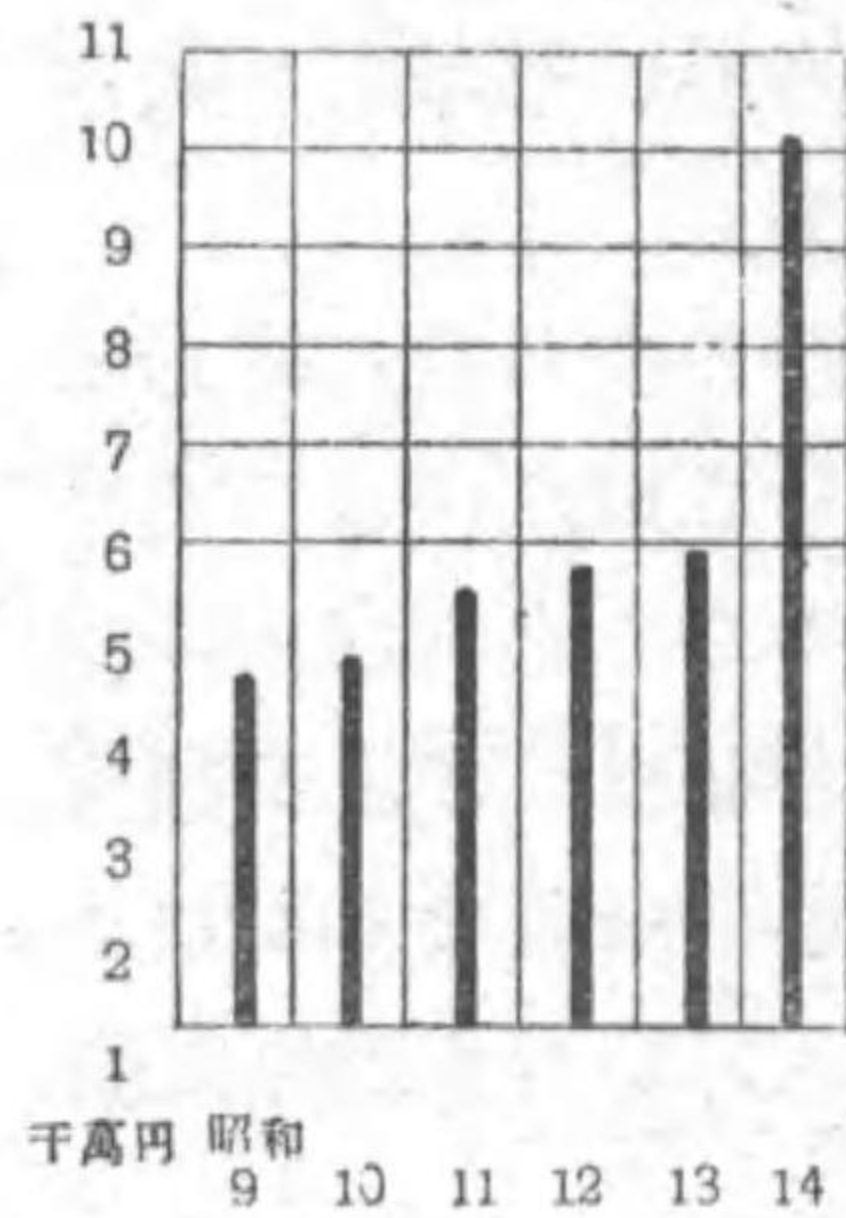
1. 地理的に東京、大阪の中間に位し中京名古屋との交流に刺激さるゝ點、且つ裏日本への基點に立ち近邦へは市を中心として放射的に鐵道、電鐵網が走り貨物の集散地なる點。
2. 古來一般子女は手藝に長じ且忍耐力旺盛にして質實剛健なる氣風に富める點
3. 本縣は工業の原動力たる水力電氣の本邦隨一の供給地なるを以つて之が利用の便多く大工場設置に最適せる所以。
(地本資本に依る電力經營も近く實現するものと信ぜらる)

以上の事由に依り近年躍進に躍進を續けつゝあつた本市工業は昭和十二年の支那事變を契機として更に一段の活況を呈するに至つ

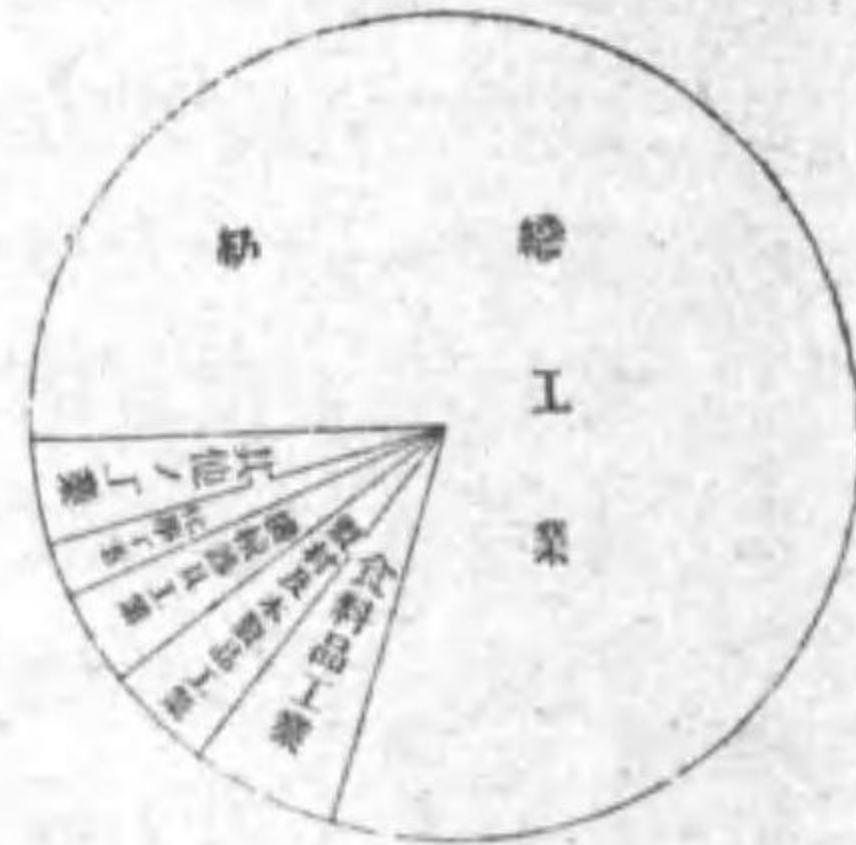
た。特に金属工業、機械器具工業、化学工業を含む重工業、軍需工業の躍進膨脹振は洵に驚嘆すべきものを見る。

本市の生産物年産総額は市制施行當時150萬圓餘に過ぎず、現に工産額のみにて優に一億圓を突破するの飛躍振りを示す。

岐阜市工産の趨勢



工産品種別



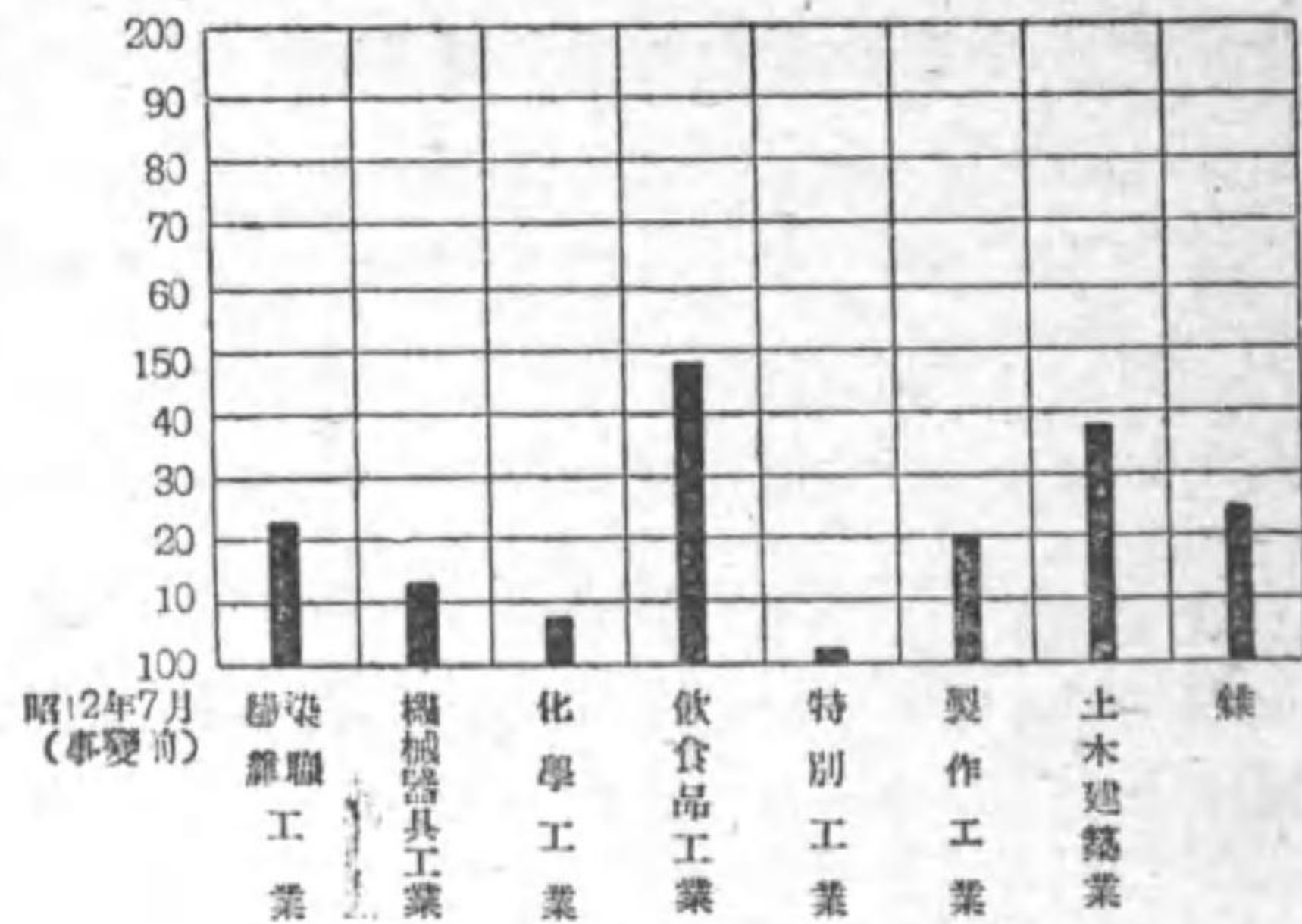
主要事業別戸數 昭和十四年中に於ける
 従業員數及生産額 工業趨勢を主要事業別
 に表はせば下表の通りにして十三年度に比し

生産額に於て74%の激増を觀る。

主要事業	工場數	五人未満工場		五人以上工場		特定工場		生産額
		戸數	職工	戸數	職工	戸數	職工	
金属工業	97	82	142	14	131	1	35	602,376
機械器具工業	173	109	289	55	557	9	534	3,421,146
化学工業	69	61	96	8	134	—	—	2,786,674
ガス業及電気業	1	1	1	—	—	—	—	1,046
窯業及土石工業	64	50	138	14	131	—	—	328,270
紡織工業	643	531	1,213	104	2,762	8	6,044	82,733,963
製材及木製品工業	523	477	956	44	427	2	97	3,921,304
食料品工業	287	246	661	40	335	1	27	5,956,564
印刷業及製本業	95	75	180	19	166	1	93	813,255
其他ノ工業	1,487	1,445	1,926	42	438	—	—	3,339,573
合計	3,439	3,077	5,602	340	5,081	22	6,830	103,904,176

労働賃銀 近年物價の騰貴に伴ひ労働賃銀も亦若干上昇の氣勢を示す

就中軍需工業並に配給統制の強度な商品の製造に従事する分野程昂騰顯著なものがある。今事變前昭和十二年七月を100とし昭和十五年七月と對比指數を示せば次の如くである。



商 業

岐阜市商業調査 昭和十四年末現在に於ける本市内に固定営業所を有する物品販賣店舗を調査したる概要は次の如くである。

営業所数	11,528戸
卸業	271
卸小賣業	457
小賣業	108,00
従業員数	17,290人
男	14,698人
女	2,592人

資本金	26,953,100円
(固定運轉計)	
販賣額	119,074,349円
卸賣額	9,069,637
小賣額	110,004,712
経費	
營業費	4,200,935円

倉庫出入物 岐阜市所在主要倉庫（濃飛、美濃倉庫）に於ける昭和十四

年中の貨物出入状況を観ると

項目	個	前年度対比	円	前年度対比
前年繰越	123,265		4,193,232	
入庫高	372,579	79%	11,256,257	80%
出庫高	426,519	169%	11,526,861	98%
年末現在	69,325	39%	3,922,628	82%

集散貨物品種別 上記集散貨物を五大品種別に観ると次の如くである。

種別	入 庫		出 庫	
	數量	金額	數量	金額
總數	348,570	10,779,406	426,519	11,526,861
食料品	226,203	2,837,693	316,240	4,043,019
原料品	7,900	1,514,664	9,234	1,797,779
原料用製品	101,276	4,801,615	91,621	4,136,970
全製品	1,332	317,335	1,694	307,168
其他	11,859	1,308,099	7,730	1,241,925

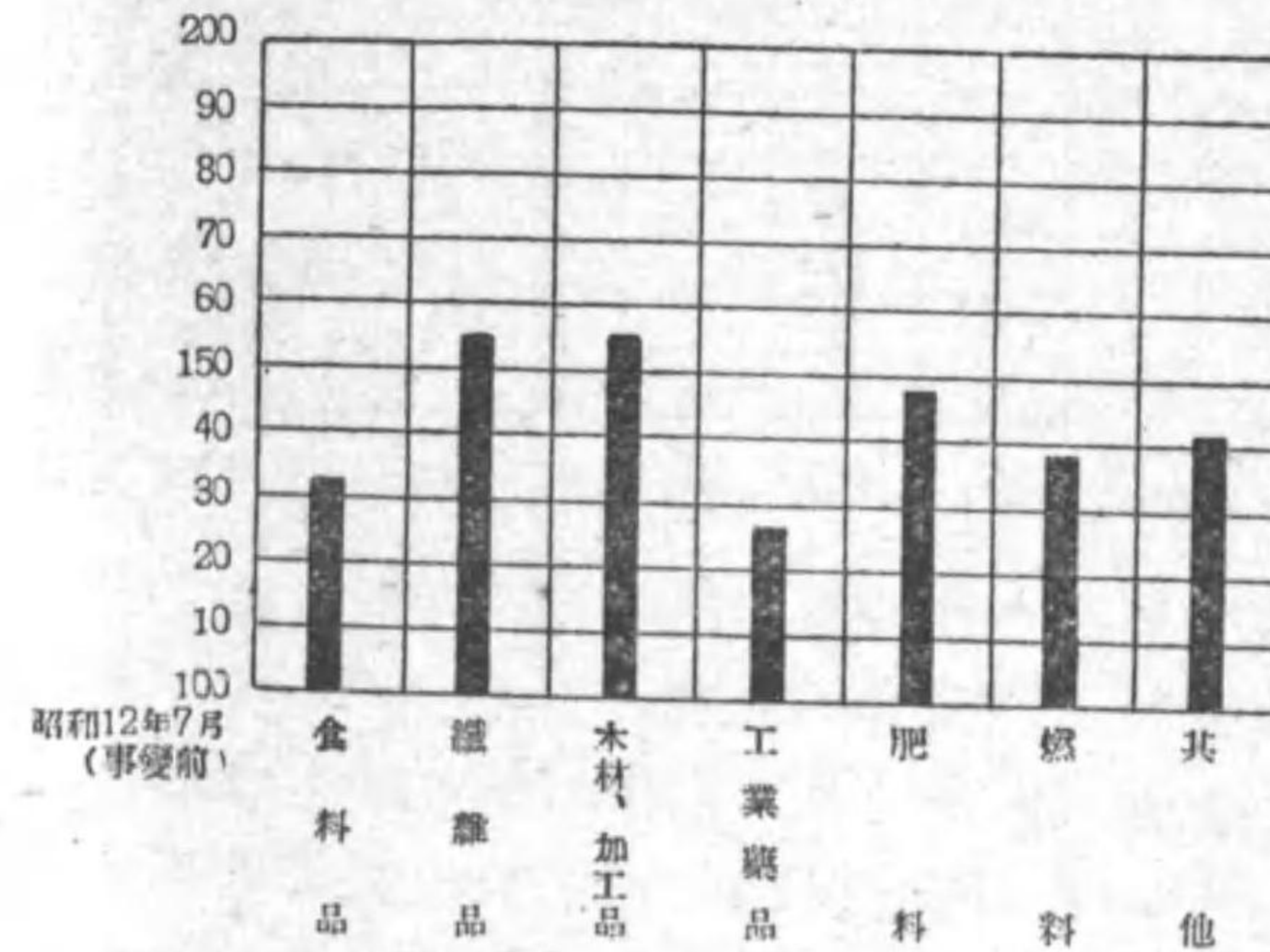
備考 食料品トハ米、麥、雜穀、砂糖、飲料類
 原料品トハ鹽、綿花、羊毛類
 原料用製品トハ和用紙、各種肥料類、地金、鐵材、漆、塗料、藥品、
 各種纖維並其原料用製品
 全製品トハ織物加工品、織物製品

品 種 別 輸 出 額 昭和十四年中の本市生産品輸
 出額の品種別割合を觀ると下
 表の如くにして特に目立つは織物類の激減、
 是は内需價格の昂騰に刺激されたる爲、及圓
 ブロック輸出の割當制限實施に起因するもの
 と思はれる。

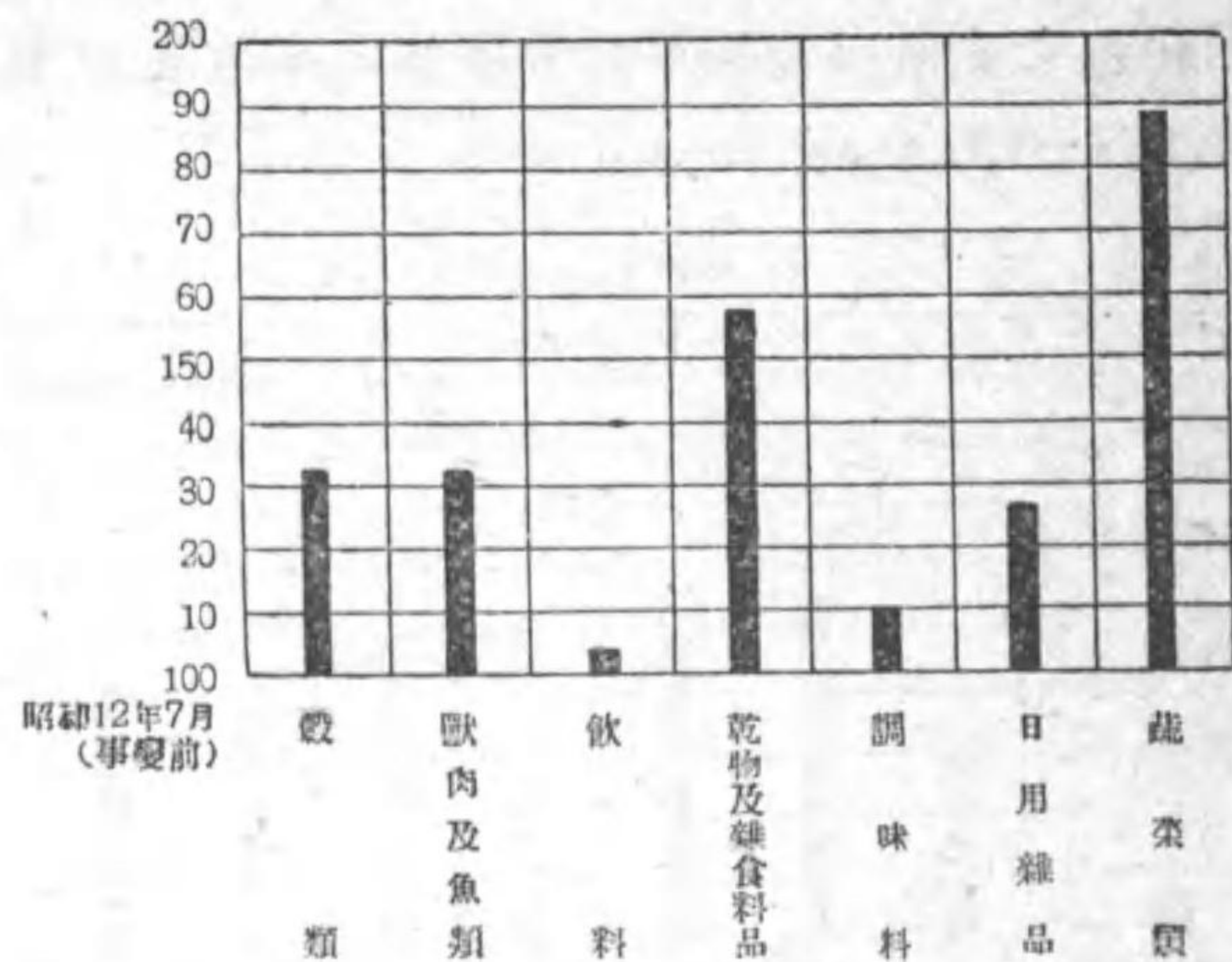
織物類	2,255,107円	食料品	140,064円
紙及同製品	217,645	木工品	154,845
雜工品	92,250		
累 計	2,859,911		

卸賣物價 歐洲大戰の反動は大正九年來
 昭和六年迄續き物價は漸落歩
 調を示し金再禁止、滿洲事變を契機として再
 び上昇に向つた。昭和十二年七月支那事變の
 突發に依り急激なる昂騰を來し、政府の物價
 抑制策に反し下表の如く驚くべき騰貴率を示
 す、特に織物類、木材製品、肥料、食料品の
 騰貴著しく目立つてゐる。昭和十二年七月を

100 とする昭和十四年九月現在の指數は 次表
 の如くである。



小賣物價 本市日用品小賣物價も卸賣物
 價の騰貴に併行して著しい騰
 勢を示した。昭和十二年七月(事變前)を100
 とし昭和十四年九月現在の比較指數を表せば
 下表の如くにして特に日常必需品である蔬菜
 類の189、雜食料品の161、は時局下恟に香
 しからざる數字にして注目に値す。



岐阜商工會議所 商工都市岐阜に於て重要なる役割を果しつつある岐阜商工會議所は明治二十三年十二月設立され爾來岐阜市發展と併行して其機能を發揮機構も充實され更に新體制に處し經濟會議所としてのその機構改革後の活躍が期待されてゐる。

會社

會社概觀 昭和十四年の會社數 477、前年度に比し 64 (16%) の増加である。

組織、營業別に觀れば次の通りである。

會社組織及營業別

昭和14年
(加納則武ヲ含ム)

種別	總數	株式會社	合資會社	合名會社	株式合資會社
工業	130	34	72	23	1
商業	331	73	143	115	—
運輸業	14	11	1	2	—
農業	2	1	1	—	—
計	477	119	217	140	1
昭和 13	413	86	200	126	1

資本金 前記會社の拂込資本金及出資額は 20,891,098圓にして事變前 11 年と比較對照するに工業 151%、運輸業 212% の各著しき増加に比し商業の 4% 減は經濟推移の狀勢を如實に物語る。

業種別資本出資調

昭和14年
(加納則武ヲ含ム)

業種別	社數	拂込資本金又ハ出資額		
		實數	割合	11年ト比較率
總數	477	20,891,098 円	100%	(-) 16%
工業	130	6,902,330	33	(+) 151
商業	331	12,412,768	59	(-) 42
運輸業	14	1,551,500	7	(+) 212
農業	2	24,500	1	(-) 53

金融

金融概観

昭和十二年來岐阜市の金融界は戦時體制への進行に伴ひ生産力擴充、時局産業の勃興が積極化し斯くて資金需要に依る異常なる活況を呈したその概要次の如くである。

昭和十四年末現在

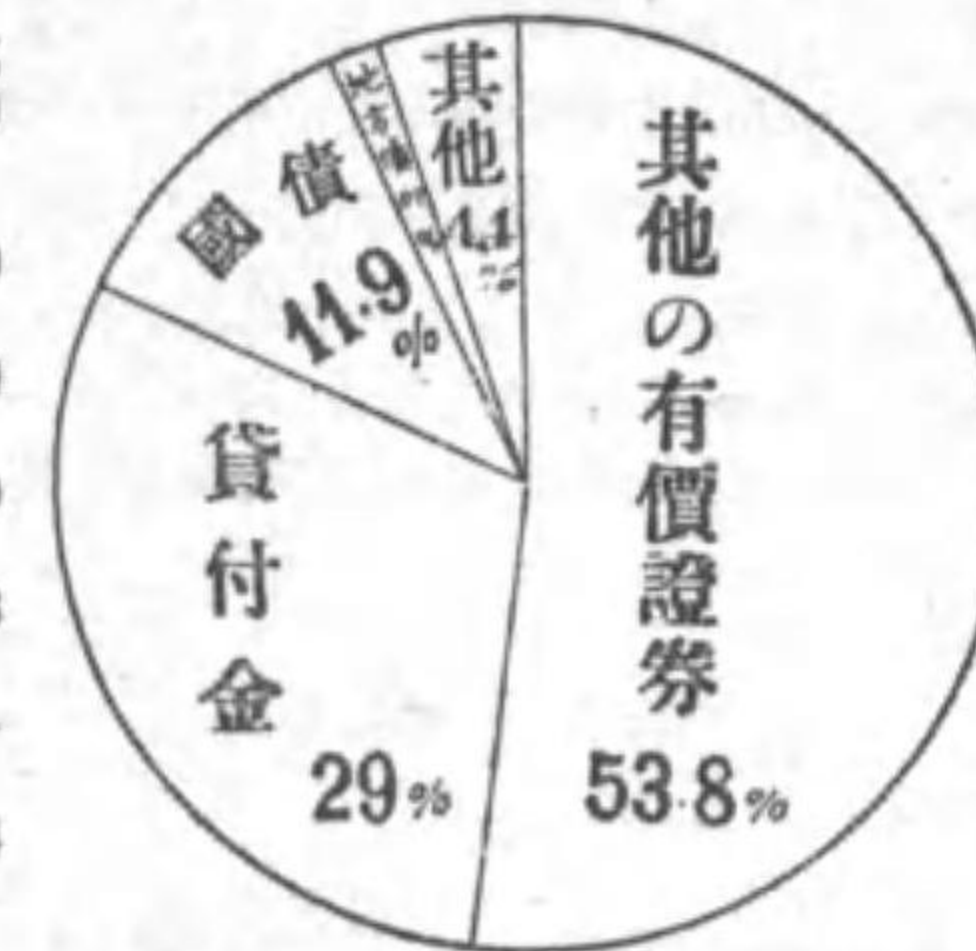
	數	預 金	前年 對比 %	貸 出 高	前年 對比 %
普通銀行	(7)	89,284,545 円	135	38,001,303 円	137
貯蓄銀行	(2)	25,331,888	117	1,235,635	85
信用組合	(7)	40,913,663	176	968,802	66
郵便貯金	(1)	預入高 14,860,129 円	前年 對比 % 134		
信 託	(1)	信託高 2,455,743 円	前年 對比 % 114.8		
無 盡	(2)	契約口數 43,093	前年 對比 % 102	契約高 36,924,000 円	前年 對比 % 116
買 舖	(2)	公益買舖 貸出高 128,118 円	前年 對比 % 86		
手形交換高		枚 數 190,603	前年 對比 % 109	金 額 116,635,739 円	前年 對比 % 146

信託財産運用別

金銭信託を運用別に觀ると次の如く、總額2,754,185圓の中有價證券に對する投資が半數以上を占めてゐる。又財産運用の推移を顧みると昭和十二年來金銭信託全般の増加率は低下を示してゐるが其率では依然有價證券が高率にて他は低率を涉りつゝある。大都市に於ける有價證券の著しき低下の狀況と比較し時流に對する感覺の鋭鈍の差が如實に窺はれる。

金銭信託運用別 昭和十五年5月末現在

	円	%
總 額	2,754,185	100.0
貸付金	801,061	29.0
國 債	327,801	11.9
地方債	22,000	0.9
其他ノ有價證券	1,482,628	53.8
株 式	—	—
其 他	120,696	4.4



郵便貯金

國民の零細なる貯蓄の結晶である郵便貯金は貯蓄獎勵の波に乗つて年々著しい増加の傾向を示してゐる

が昭和十四年度中本市内管區局所の取扱高は預入高、口數、金額共に20%乃至30%の増加率を示し益々國策順應の氣勢が一般に窺はれる

特に昭和十二年と十三年度の比較は預入高の口數に於て211.4%、新規預入人員數に於て305%の飛躍的增加率は注目に値す。

郵便貯金取扱狀況 昭十四年度末現在

年度	預入高		新規預入人員	拂戻高		年度末現在	
	口數	金額		口數	金額	人員	金額
昭和14	1,445,434	14,860,129	—	207,129	11,228,673	263,337	25,541,859
// 13	1,201,712	11,091,532	102,193	199,039	9,685,904	237,564	21,332,150
// 12	568,423	9,664,061	33,527	196,319	9,214,266	158,416	19,430,154
// 11	518,011	10,241,019	31,381	204,306	9,781,011	145,145	18,525,604

参考 加納、南、北長森、則武、木田ノ各局分ヲ含ム

交通

交通概觀

市制施行以來五十年間大岐阜市實現の急速大發展を遂げたのは交通機關の完備に負ふところ、頗る大なるものがある。本市は更に之に對處すべく實

行しつゝある都市計畫並に時局産業の進捗に依り日々擴張整備せられ益々近代都市としての面目を高めつゝある。

道路

昭和十四年末の本市道路の總面積は 1,429,653 平方米にして市總面積の 3.3% を占む。道路面積の内舗装道路面積は 210,039 平方米(15%) である。本市土木課の調査による市内主要道路の一時平均交通量は下表の如くである。

主要路線交通量 昭和13年10月21日
A.M.6時ノ平均
P.M.8時

	神田町 七丁目	金三丁目	徹明通 二丁目	美殿町
乗用自動車	46	20	14	17
貨物自動車	18	4	13	8
電車	58	—	33	14
牛馬車	6	7	2	2
荷車	28	8	6	7
自動自轉車	9	13	10	5
自轉車	811	541	407	282
歩行者	264	257	321	332

諸車

本市に於ける主要交通車を車體別に觀れば次の通りであ

る。

自轉車		牛馬車	256
自動	192	荷車	3,567
通常	14,093	人力車	46
自動車		其他	4,394
乗用	212	計	32,903
荷積	143		

通信 遞信行政は戦時國家の動脈とも又神経系統ともいふべき郵便電信電話の如き或ひは戦時財政經濟の調整に重要な働きを爲す郵便貯金、簡易保險の如き或ひは時局下生産力擴充に物資動員に將又國民生活の上に重大なる役割を演ずる電氣の如き、或ひは軍事輸送に海外資源の獲得に又産業貿易の遂行に缺くべからざる海運の如き或ひは又内地と大陸を結ぶ高速度交通機關として豫備空軍として全責を擔ふ航空の如き孰れも時局の進展に伴ひ愈々その使命は重加せられ、其の機能の最高發揮を必要とすること特に切實を加へ、此事業各部内に亘りて躍進的發展を企圖し一層戦時體制を強化するた

め種々の重要施設は相踵ひて實行に移されつゝあり。

		前年度トノ比	
郵便	引受	普通々常留 12,430,326	197,454 増
	配達	普通々常留 158,412	7,859 増
小包郵便物	引受	普通々常留 14,278,048	392,042 //
	配達	普通々常留 291,531	32,616 //
電話加入者		4,322人	77人 //
電信取扱数	内 國 發	109,631 著	189,866 發 9,709 増
	外 國 //	22 //	23 發 17,802 //
			發 130 減
			著 302 //

社 會 事 業

社會事業概観 本市に厚生課が設置され、社會狀勢の推移に對處し年々量的、質的に施設の整備改善に萬全を期し其目的達成に遺憾なからしむべく善處してゐる。尙兵事課と協力軍事援護施設の充實に力を效し銃後奉公の實を擧げつゝある。

軍事援護事業 本事業は事變下銃後後援の中樞をなすものであり、出征將

兵をして後顧の憂なからしむることを以てその目的とするものであるから、公共團體のみで行はるべきでなく、銃後國民の總力を以て行はれる處に本事業の重要性が存在する。我國古來の隣保相扶の醇風を基調とし、且國民皆兵の本義に基いて兵役義務服行の準備を行ふを以つて其の目的とするものである。本市兵事課に於て行ふ事業概要は下記の通りである。

- 1 兵役義務心の昂揚
- 2 隣保相扶の道義心の振作
- 3 兵役義務服行の準備
- 4 現役又は應召軍人若は傷痍軍人竝に其の遺族家族の援護
- 5 勞力奉仕其の他の家業援助
- 6 弔 慰
- 7 慰問、慰藉
- 8 犒 軍

- 9 身上及家事相談
- 10 軍事援護思想の普及徹底
- 11 其の他銃後奉公會の目的達成に必要な事業

社 會 教 化 事 業 本市に於けるこの種事業としては勞働教育事業、隣保事業、教化矯風事業、司法保護事業等があり、直接民衆と接してその精神的或は物質的の指導援助をなすものである。

岐 阜 保 育 會

園 名	托 兒 數		計
	男	女	
駒爪町保育園	27	30	57
下新町保育園	13	25	33
沖ノ橋保育園	47	52	99
兼陽保育園	37	36	73
計	124	143	267

社會事業團體

名 稱	所 在 地	事業種別	救濟救護人員	
			救濟人員	救護人員
財團法人 岐阜養老院	岐阜市湫谷町24	養老事業	50	13,625
岐阜輔仁會	〃 大柳町9	救護事業	771	26,016
岐阜自助會館	〃 高森町六丁目16	宿泊保護事業 人事相談 母子保護	587	3,292
財團法人 岐阜縣保護會	〃 菅原町二丁目20		司法保護事業	5
正和會岐阜縣總本部	〃 三阜大字野滿	內鮮融和	—	—
岐阜縣同仁會	〃 厚生課 岐阜署	救護事業	1,533	1,533
東德風學園	〃 笠土居町52	少年保護事業	237	7,624
西德風學園	稻葉郡那加村古市場	同 上	32	7,543
島清和會	岐阜市早田208ノ1	教化事業	8	75
財團法人 日本育兒院	〃 加納鐵道町四丁目3	育兒事業	71	17,827
岐阜縣私設社會事業聯盟	岐阜自助會館內	各團體連絡統制機關	—	—
精神病救濟會	岐阜市日野腦病院內	精神病者救護慰安	—	—

經濟保護事業 本事業は從來の救貧本位の舊型態より現在は防貧に主力を集中し、多種多様な經濟保護事業が行はれてゐる。其内主なるものを挙げれば下記の如くである。(昭和十四年中)

市營質舖

職業別	貸出口數		貸出 百=付 流 質	一 口 平 均 額		
	實數	割合		貸 出	受 戻	年度末 現 在
勞働者	500	8.4%	39.7%	14,490.00	16,040.00	5,256.00
給料生活者	425	6.8	74	12,750.00	11,976.00	5,182.00
小工業者	2,068	35.9	28.9	52,043.00	55,320.00	15,740.00
小商人	1,321	21.7	23.5	37,866.00	33,707.00	10,650.00
其 他	1,701	27.2	39.1	48,194.07	54,631.64	15,954.51
計	6,015	100.0		165,343.07	171,674.64	52,782.51

市營住宅

所在地	戸 數	建 坪	敷 地	工 費	家 賃
高 森 町	18	坪 276.50	坪 329.00	円 23,989.54	円 1,575.60
白山町二丁目	3	68.25	108.75	9,418.08	〃 411.60
梅ヶ枝町	14	270.45	383.50	40,960.26	〃 1,548.00
瓦砂町二丁目	1	12.25	23.85	1,551.15	〃 67.20
松ヶ枝町	4	66.13	101.75	9,983.47	〃 381.60
千石町一丁目	8	211.20	525.00	22,657.62	〃 1,854.00
本莊西側屋	11	168.60	291.25	9,057.00	〃 1,092.00
計	59	1,073.38	1,763.10	117,617.02	〃 6,930.00

教 育

校園教育概観

本市人口の激増と一般文化向上のため本市校園施設は逐年増設擴張し昭和十五年四月一日現在の學校、幼稚園は合計67校、その學生、生徒、兒童數41,339人に達した。特に新興教育機關たる青年學校の整備充實を觀る。これを經營主體別に表はせば次の通りである。(昭和十五年四月現在)

種 別	校 園 數	教員保姆數	學生・生徒・兒童數
公立 專門學校	1	23	402
縣立 中等學校	6	155	3,757
市立 中等學校	3	66	1,832
私立 各種學校	6	50	2,055
市立 小 學 校	22	493	27,508
私立 幼 稚 園	9	44	882
市立 青年學校	14	199	2,109
私立 青年學校	6	59	2,794
總 數	67	1,089	41,339

學齡兒童 昭和十五年四月現在に於ける本市の學齡兒童は27,508人にして前年に比して3,985人(17%)の増加を示す。

年 次	就 學	不 就 學	計	就學歩合	人口ニ對スル割合
年 昭和15	27,432	76	27,508	98	96.29
14	23,457	66	23,523	99	28
13	23,094	60	23,154	98.6	24
12	19,861	69	19,930	97.9	23
11	20,291	44	20,335	98.5	23

	男	女
上級學校に進みたるもの	54%	48%
實業に従事したるもの	43	48
其 他	3	4

中等學校 産業都市たる本市に於ては早くより實業教育の普及に力を盡し、内容も完備充實しその發達は顯著である。各中等學校の入學志願者は逐年増勢にあるが就中岐阜商業學校は最も競争激甚にして入學率は41%である。(昭和十五年四月現在)



種 別	學 校 數	入學志願者	入學者數	生徒總數
市立 商業學校	1	581	258	1,126
女子商業學校	1	409	208	461
長良質科 高等女學校	1	157	65	245
縣立 中 學 校	2	731	360	1,521
女 學 校	2	686	354	1,376
師範學校	2	782	332	860
私立 女 學 校	6	1,399	758	2,055
計	15	4,745	2,335	7,644

専門學校 岐阜藥學専門學校は昭和七年四月の創設に係り、本邦唯一の公立藥學専門學校として異彩を放ち爾來全國より受験生殺到する状態にして地方文化の向上、産業振興、生産擴充に其機能を完全に發揚しつつある。生徒定員 390 名、修業年限三箇年である。(昭和十五年三月末現在)

年 度	教員數	入 學 志願者數	入學者數	卒業者數
昭和15	23	1,000	130	—
14	23	641	130	117
13	23	635	127	113
12	23	944	130	114
11	23	1,002	129	121

教育費 昭和十四年度の本市教育費は 685,248 圓で前年度に比し 28,063 圓(4%)の減少である。その内譯を示すと次の如くである。

種 別	年 度	小學校	藥學專 門學校	商 業 校	女子商 業學校	青 年 校	計
給 料	13	319,665	47,707	48,728	13,910	13,080	443,090
	14	326,524	47,832	49,916	16,154	16,944	457,370
經 雜 給	13	56,199	5,531	6,620	3,371	21,573	93,294
	14	58,524	5,837	7,092	3,622	22,117	97,192
常 需 用 費	13	53,948	29,896	4,248	1,893	7,077	97,062
	14	55,955	32,696	4,983	2,088	8,404	104,126
費 修 養 費	13	7,677	1,000	1,100	50	20	9,847
	14	8,823	1,100	1,273	—	64	11,260
其 他	13	5,000	—	—	—	—	5,000
	14	2,500	—	—	—	—	2,500
臨 時 費	13	60,650	4,373	—	—	—	65,023
	14	—	—	12,800	—	—	12,800
計	13	503,139	88,507	60,696	19,224	41,750	713,316
	14	451,912	87,465	76,064	21,864	47,529	685,248

青年團 岐阜市聯合青年團と稱し數其 17 團、1,632 人で、其事業は團員相互の親睦修養並に體位向上を目的とし、

大正十年創立當時は團員 100 名内外に比し飛躍的發達をなす。戦時下青年團の使命に鑑み一段と緊張不斷の活動を續けてゐる。

團名	分團數	團員數	團名	分團數	團員數
金ヶ青年團	4	96	日野青年團	3	42
京町ヶ	4	82	長良ヶ	7	135
明德ヶ	3	83	島ヶ	12	205
徹明ヶ	3	115	三里ヶ	4	114
白山ヶ	2	205	磐山ヶ	4	77
梅林ヶ	2	80	加東部ヶ	6	64
本郷ヶ	2	64	加西部ヶ	5	105
本莊ヶ	3	76	則武ヶ	3	45
葦陽ヶ	1	44	計	68	1,632

警 備

消防機關 本市の消防機關は下表の通りにして市民を火災禍より安全に護つてゐる。(昭和十四年末現在)

消防員	} 5,032人	ポンプ自動車	7
消防手		水管自動車	1
消防曹長		消防車(ポンプ)	113
		其他水管車	44

火災原因別 (出火度數50回)

使用火の不始末	29回	油類に引火	2
電 氣	1	煙 突	7
煙草の吸殻	4	其他の失火	6
放 火	0	不審火其他	1

(本表ハ岐阜警察署管内昭和十四年度ノ統計ナリ)

警 防 團 戦時下國土防衛の重大任務に
基き本市に於ては逸早く警防
團を組織し、日夜防空訓練に力を效し其陣容
整備に於て完璧を期してゐる。

岐阜市警防團實在員數表

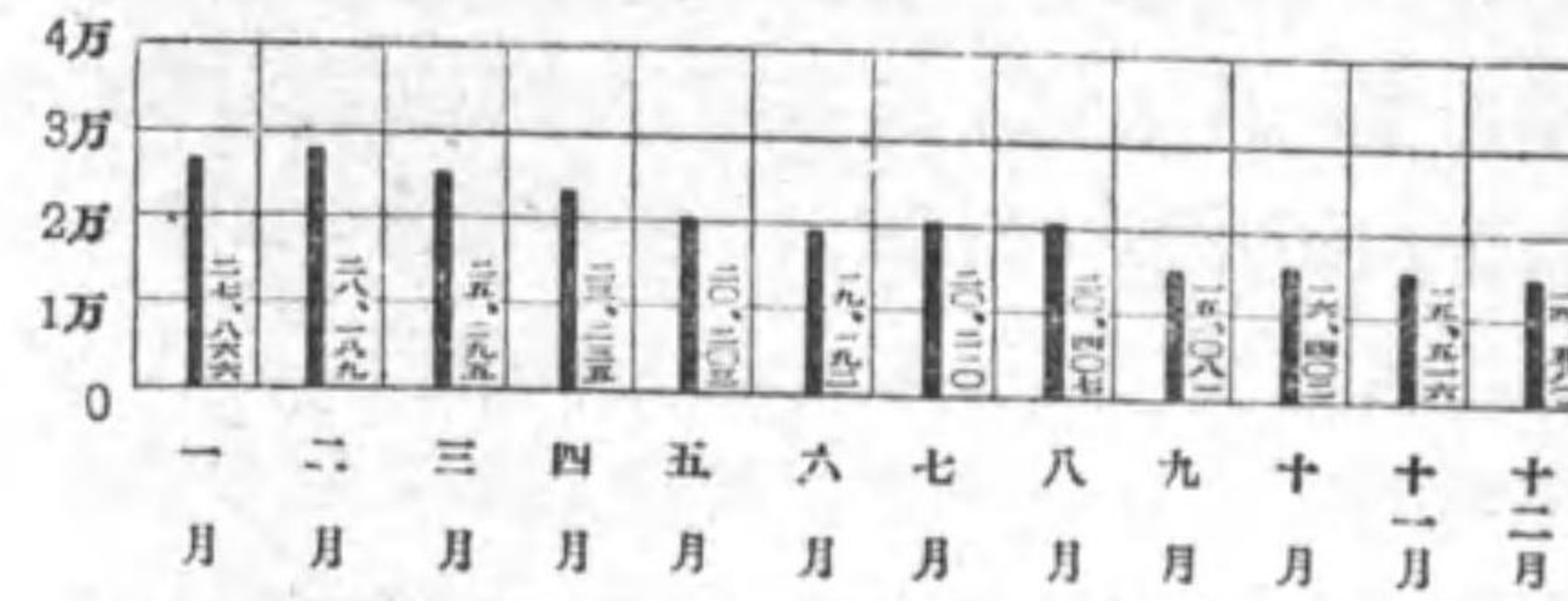
部 別	團 長	副團長	分團長	部 長	班 長	警防員	計
本 部	1	2	1	2	—	召 5	11
庶 務	1	2	2	10	15
企 劃	1	2	4	22	29
經 理	1	2	2	10	15
醫 務	1	2	51	—	54
樂 務	1	2	29	—	32
工 務	1	2	14	—	17
金 庫	1	3	12	126	142
京 町	1	3	12	106	122
明 德	1	3	12	104	120
本 郷	1	3	16	180	200

部 別	團 長	副團長	分團長	部 長	班 長	警 防 員	計
白 山	…	…	1	3	16	180	200
徹 明	…	…	1	3	16	203	228
梅 林	…	…	1	3	14	133	151
日 野	…	…	1	1	5	65	72
長 良	…	…	1	1	11	120	132
島	…	…	1	1	9	142	153
鷺 山	…	…	1	1	3	49	54
三 里	…	…	1	1	4	68	74
本 莊	…	…	1	2	8	96	107
常 備	…	…	1	1	6	25 補助員	112
加 納	…	…	1	3	16	6	243
則 武	…	…	1	2	6	217 75	84
計	1	2	23	48	267	2,026	2,367

衛 生

上 水 道 本市人口の激増と保健衛生思想の普及により上水道の給水戸数、消費量は共に逐年増大の趨勢にある。其一日平均給水量月別表を示せば下表の通りである。

一日平均給水量 (昭和14年度調 単位立米)



註 二月以降使用水量漸減セルハ從來定額給水制ナリシヲ四月ヨリ従量制ニ變更、二月ヨリ六月迄ノ間ニ全戸ニメートルヲ取付タルニ依ル

給水用途種別 (昭和十四年三月末日現在)

種 別	給水戸数	前年度戸数
普通 第一種 (官公署、家事又ハ營業ニ使用スルモノ)	11,643	10,995
〃 第二種 (風呂營業ニ使用スルモノ)	8	3
〃 第三種 (庭園、澆、噴水、泉池共ノ他娛樂用)	—	7
〃 第四種 (土木、建築、工事共ノ他一時用)	2	—
特別 (家屋賃貸價額月拾圓未満ノモノ)	5,175	5,243
料 金 免 除	403	86
計	17,231	16,334

下 水 道 大都市に於ける下水道施設の完備は都市衛生上一日も放任

し難い大問題である。本市に於ては他都市に率先早くも大正十二年都市計畫法適用當時既に下水道布設の計畫あり爾來幾多の調査研究を重ね分流法によるを最も經濟的にして且つ合理的なるを認め之が前提として昭和元年稻葉郡、加納町外十三ヶ町村と協力し岐阜市、稻葉郡用排水普通水利組合を組織し、雨水排除事業を完成したのである。以上用排水事業の完成により本市の下流排水關係は解決したので總工費 295 萬圓を以て分流式下水道事業實施計畫を樹て都市計畫事業として實施することとし既に工程の大半を竣へたが事變の影響を受け若干延期の止むなき事情に依り昭和十六年上期に完成の豫定である。尙下水道施設の概要を示せば下表の如くである。

事業規模

事業名	起工	事業費	排水面積	計畫人口	下水管長
都市計畫 下水道事業	昭和9年7月 豫定 昭和16年3月	2,950,000 円	ヘクタール 490	100,000 人	91.9 軒

宅地下水道普及状況

下水道 区域内戸數	宅地下水道 施設済戸數	内水洗便所 施設済戸數	備 考
20,000 戸	9,407 戸	9,135 戸	全區域ニ亙リ水洗便所ニ改良ノ計畫ニテ進捗中

處分場設備

唧筒場		曝 氣 槽		沈 澱 槽		汚 泥 消 化 槽		汚泥乾燥場		
唧筒井	唧筒	送風機	池數	容量	池數	容量	便數	容量	床數	面積
1個	35馬力 3台	2台	8	立米 9,500	8	立米 1,900	2	立米 5,600	20	平米 3,000

昭和十四年中に本市内の家屋塵芥及汚泥工場等から吐き出される塵芥

汚泥の搬出量は

	總 量	一日平均	一戸平均
塵 芥	6,208,640	17,440	0.62
汚 泥	1,204,320	3,300	0.12

市營塵芥處分場の設備に付いては塵芥焼却場の建設に關して

目下計畫中である、市内より日常排出される塵芥汚泥の60%は埋立或は肥料に利用し其他は塵芥蒐集搬出の請負業者が極めて原始的

の焼却爐に依つて撰別焼却を行ひつゝある。

傳染病

本市に於ける昭和五年以降昭和十四年に至る十ヶ年間の傳染病發生状況を回顧するに總數に於て一ヶ年平均 292 人であつて内、赤痢の 117.5 人が其第一位を占め次は腸チブスの 98.7 人であつて以下ヂフテリア、猖紅熱、パラチブス、流行性腦脊髄膜炎の順序に發生してゐる。痘瘡は大正十三年に十三名の患者が發生したのみで其の後に於ては發生してゐない、其他コレラペストは發生事實なし。

傳染病患者數累年比較

病 別	昭和 5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
腸チブス	83	71	71	116	113	106	182	88	99	58	987
パラチブス	—	2	1	14	2	8	3	55	9	4	98
赤痢(養病)	70	76	90	67	119	130	169	134	160	160	1,175
ヂフテリア	10	14	31	27	40	74	49	35	30	47	357
猖紅熱	13	8	37	30	38	48	45	18	36	26	299
流行性腦脊髄炎	—	1	—	—	—	2	—	1	—	—	4
計	176	172	230	254	312	368	448	331	334	295	2,920

治療機關

昭和十四年末現在本市の官公私立病院數は14、醫療關係者は醫師 201 人、藥劑師 60 人である。市立病院としては市立診療所、市立病院、療養所の三つにして昭和十四年中の患者延人員は 64,616 人、4,481 人、10,736 人、合計 79,863 人である尙醫師一人に對する人口は 911 人の割合で内地(昭和十一年中)の 1,177 人、大阪市の 919 人(十三年中)に較べると本市民は醫療機關には相當惠まれてゐる。尙市立診療所は目下移轉改築中であつて完成の上は市立綜合病院となるのである。

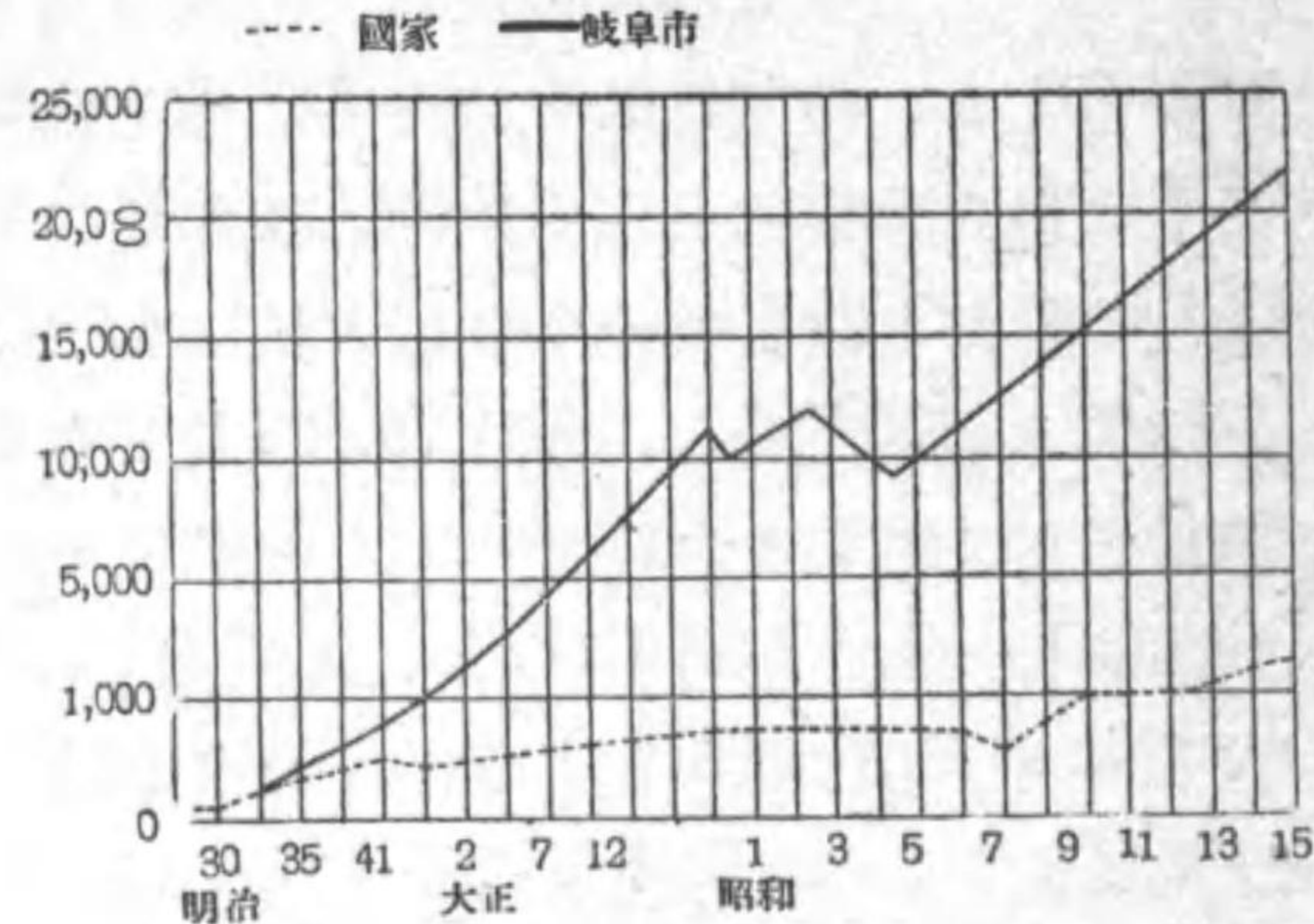
財 政

財政概観

人口の都市集中と産業の發達は必然的に都市財政の膨脹を招來した。今明治三十年當時と昭和十三年とを比較するに國家歳出に於ては 28 倍に對し岐阜市歳出は實に 200 倍に達する驚くべき財政の膨脹振りを示してゐる。

國家、岐阜市歳出膨脹率比較

(明治三十年=100)



昭和十五年
度 豫 算

昭和十五年度豫算は普通、特別兩經濟を合して歳入出共4,939,610圓、之を前年度豫算に對比すると1,260,719圓の増加を示す。本市としては現下の時局に鑑み、有效適切なる諸種の施設並に事業を積へ以て國策に寄與すべく、萬遺憾なきを期した。即ち出征遺家族に對する援護、生産力の擴充、並に市民體位向上等に要する經費は努めてこれを計上すると共に、その他

の一般經費に付ては出來得る限り節約し、急を要せざるものは之を差控へ、既決のものとも雖も繰延或は中止をして起債抑制及物資節約の國策に順應することに意を用ひた。その概要は次の如くである。

經 濟 名	昭和十五年度 原 豫 算	昭和十四年度 原 豫 算	増 (-) 減
費 退 經 濟	2,633,438	2,076,621	556,817
公 企 業 經 濟			
水 道 費	1,366,454	843,196	523,258
其 他 ノ 經 濟			
都市計畫事業費	332,980	541,437	(-) 208,457
質 舖 費	208,290	164,500	43,790
観 光 費	56,011	46,294	9,717
罹 災 救 助 資 金	1,989	1,268	721
基本財産蓄積金	1,664	1,724	(-) 60
小學校基本財産蓄積金	266	305	(-) 39
市有建物非常準備基金	68	58	10
小學校改築準備基金	67	71	(-) 4
大 學 基 金	779	818	(-) 39
轉 貸 債 償 還 金	830	831	(-) 1
共 他	1,753	1,768	(-) 15
追 加 豫 算	335,021	-	335,021
合 計	4,939,610	3,678,891	1,260,719

昭和十三年度決算 昭和十三年度決算は總歳入5,174,925圓、總歳出3,642,667圓である。本市制施行直後の明治三十二年の歳計、14,261圓と比較すると一般會計に於て實に歳入170、歳出145倍の驚異的な膨脹振りを示してゐる。

經濟別	總 歳 入		總 歳 出	
	金 額	百分比	金 額	百分比
總 額	5,174,925	100.0%	3,642,667	100.0%
普通經濟	2,426,417	47.0	1,880,457	51.6
特別經濟	2,748,508	53.0	1,762,210	48.4

一般會計の歳入内譯

種 別	昭和十三年度決算	昭和十四年度決算	種 別	昭和十三年度決算	昭和十四年度決算
財産ヨリ生ズル収入	8,237.56	11,120	繰越金	409,365.92	5,000
使用料及手数料	224,021.72	245,686	貸付金	17,746.45	36,611
交付金	75,030.16	79,090	寄附金	32,174.99	57,584
國庫下渡金	82,416.89	84,942	雑収入	160,125.59	167,830
財政補給金	19,289.00	19,289	市 債	385,300.00	341,900
國庫補助金	32,308.43	31,596	市 税	890,941.89	918,432
縣補助金	33,694.66	36,466	繰入金	14,032.35	—
報償金	1,300.00	1,300	歳入合計	2,426,417.16	2,076,621
財産賣拂代金	40,381.55	39,775			

市有財産 本市各般の事業施設の膨脹發展と他面、市の健全財政方針に依り、本市、市内財産は増加の一路を辿り昭和十五年三月末現在に於て總額、10,928,390圓を示す、その内譯は、

基本財産	88,396	積立金	61,401
公用財産	10,750,353	部落有財産	28,240

市 債 昭和十五年四月一日現在の市債總額は7,701,128圓で本市に於ける各種都市施設の整備就中公企業の擴充に伴ひ市債は逐年膨脹を辿る。然して市有財産に對する市債の割合は60%で本市財政の健全性を示す。更に起債額、未償還額を事業別に觀ると次表の通りである。

事業種別	起債額	未償還額	事業種別	起債額	未償還額
總 額	7,701,128	6,661,622	特別會計	5,079,000	4,513,459
一般合計	2,622,128	2,148,163	水道費	4,116,200	3,653,083
教育事業費	1,746,500	1,407,042	都市計畫事業費	793,800	783,186
社會事業費	268,128	186,623	質舖費	169,000	77,190
土木費	607,501	554,497			

市 税 昭和十四年度に於ける本市の市税は普通市税、都市計畫特別税の二種でその細別は次の通りで累年納税成績は向上し殆んど百パーセント近い成績を擧げてゐる。

昭和十四年度市税納税成績調

税 目	豫算額	測定額	収入額	収入歩合(千分比)	
				本年度	前年度
地 租 附 加 税	68,447	68,592	68,592	1,000	999
特別地租附加税	2,201	2,220	2,220	1,000	1,000
營業收益附加税	116,308	128,798	128,709	999	997
家屋税附加税	163,319	170,649	170,612	999	999
營業税附加税	44,905	43,365	43,341	999	996
雜種税附加税	120,579	125,919	125,857	999	997
特別税戸數割計	345,625	346,137	345,952	999	999
計	866,384	885,680	885,283	999	998
過年度收入 (税外一部含ム)	127,744	135,973	132,377	973	963
地 租 割	6,320	6,340	6,340	1,000	999
特別地租	4	4	4	1,000	1,000
營業收益割	27,934	31,697	31,674	999	997
家 屋 税	31,520	31,648	31,638	999	999
營 業 税	8,620	8,362	8,359	999	996
雜 種 税	17,413	10,066	10,056	999	996
計	91,811	88,117	88,071	999	997
過年度收入 (税外ヲ含ム)	9,000	37,100	27,849	750	682

選舉及市職員

議 員 昭和十四年末本市の市會議員は36人(二名缺員)で職業別に觀ると次の通りである。

銀行 社員	辯護士 辦理士	工業	商工	農工	公務 自由工	其他	計
3	1	4	13	4	—	9	34

選 舉 昭和十二年執行の市會總選舉に於て定員36人に對し其投票成績は次の通りである。

市會議員總選舉

	人	比 率 %
有 権 者 數	22,525	100.0
投 票 數	19,162	85.1
棄 權 數	3,363	14.9

市 職 員 昭和十五年四月現在に於ける岐阜市職員數は557人で明治42年當時の44人と比較すれば實に12.6倍の著しい膨脹振りである、その内容を示すと次の通りである。

職名	昭和 15.4	大正 14末	明治 42末
市長	1	1	1
助役	1	1	1
収入役	1	1	1
主事	9	2	-
視學	1	1	-
技師	7	4	-
市立病院長	1	-	-
診療所長	1	-	-
醫員	8	-	-
書記	106	36	13
技手	25	9	-
調劑員	6	-	-
掃除監督	1	1	1
掃除巡視	9	7	4
看護婦長	3	-	-
書記補	90	17	14
技手補	19	6	-
雇	42	6	3
看護婦	5	-	-
工夫使了其他	222	12	7
計	557	104	44

員員員員員
委員委員委員委員
厚生水道育木務
厚水教土學
長長員員員
議會委委
議副事務業
長副參財產

市 議 會 員

吉雄郎 一七郎 郎 郎 作 郎
清芳五慶平治太次彌治郎
葉見藤井川村田王藤由
辻稻鷺加向早中古清安
(缺員二名)

教 學 學 厚
土厚參產教、教、水產水參

助陸郎作幸吉郎 郎 一八一吉
之正三金範甚太入久後賢與
井原仁深田本田井野野內
吉桑小荒高杉玉玉林水宇柿

教 學 財
土水參、土產厚土水產參、參、水

郎 郎 市 八 一 一 雲 次 郎 吉 衛 憲
次 三 林 喜 文 政 賢 太 永 兵 英
作 田 藤 原 野 脇 相 本 札 利 藤 理 崎
田 山 加 松 上 西 李 西 掛 毛 安 宮
篠 山 加 松 上 西 李 西 掛 毛 安 宮

財 學 厚 厚 財 財
參、長、參、產、厚、參、參、水、產、土、土

市營事業概要

上 水 道

上水道は都市に於ける保健衛生施設として又火災防止竝に産業振興施設として必要缺くべからざるものである。

本市に於ても大正十四年より昭和二年に互り調査研究を遂げたる結果、水質佳良、安全にして而も工費低廉を期し得る點より長良河畔に於ける地下水を引用するを最も適當と認め之が計畫を樹立し、昭和三年市會の議決を経て全市に上水供給の一階梯として、水質不良にして飲料水に不便多き市の南半部に給水する所謂第一期事業を施行することとなり、同年十一月工費八十二萬圓餘を以て同年十二月之が工事に着手昭和六年三月之が竣功を見たのである。

然るに第一期事業の成績極めて良好なると市の北半部の水道敷設の要望切なるに鑑み、更に引續き第二期工事を施行することとし、昭和五年三月工費六十六萬圓餘を計上工事を

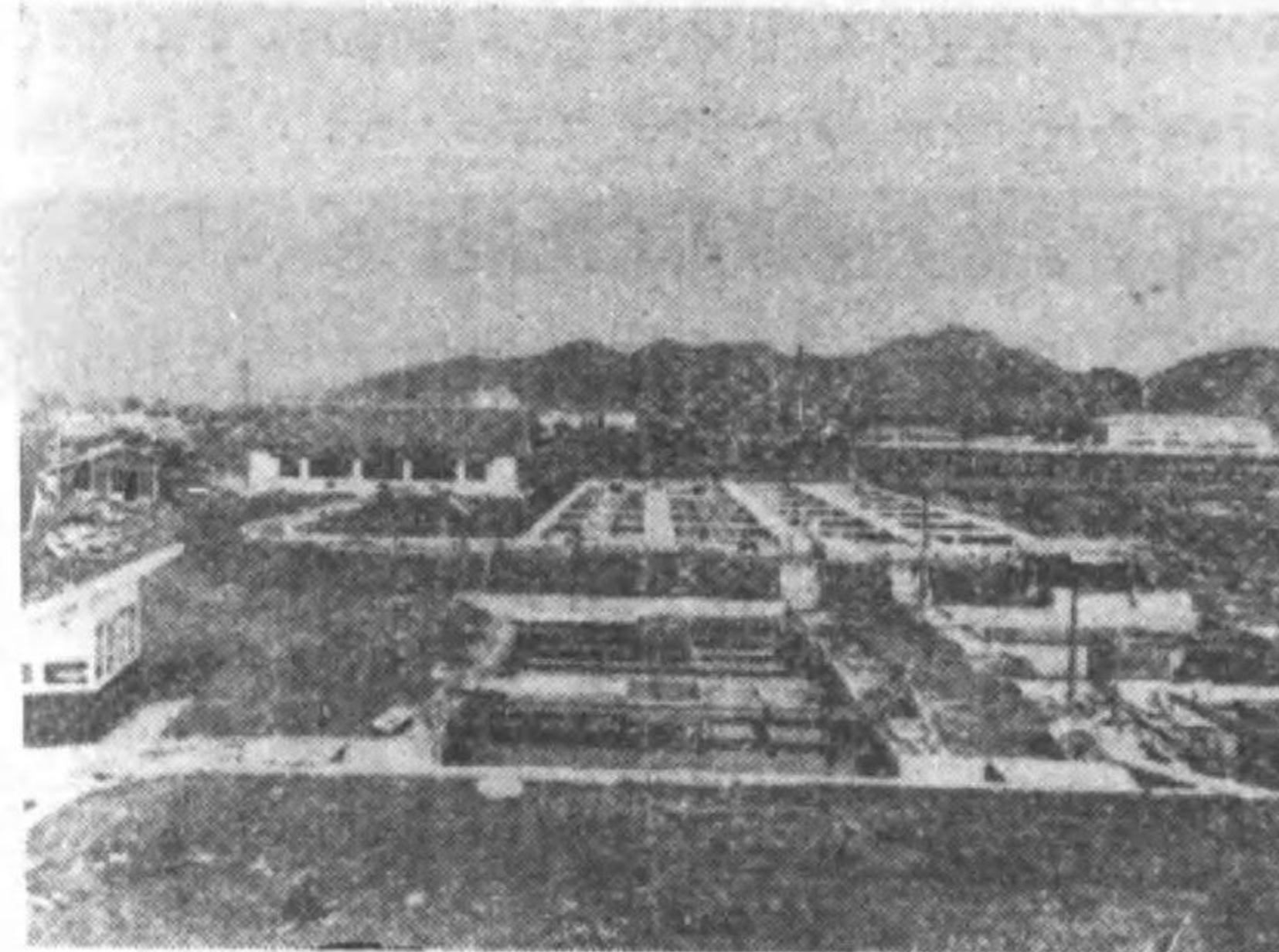
續行昭和八年末全市に亘る水道施設を完成し給水の普及に於ても其の數 17,300 戸を算し、一日最大給水能力 40,000 立方米、一人一日給水量 111 立の規模を有してゐる。上水道として充分其の機能を發揮し得るに至つたのである。

下 水 道

都市の急激なる膨脹發展は、人口の激増と各種工場の設置により著しく其の使用水量を増加し工場排水、家庭污水等は市内到る處に滞留し、更に排出糞尿の過剰を來し遂に其の處分圓滑を缺き、市民保健衛生上誠に寒心すべき状態で一日も放置し難い大問題である。本市に於ても大正十二年早くも之が施設の計畫ありたるが下流排水の關係及事業費等の關係上實現に至らず、其後幾多の調査研究を重ね昭和九年三月總工費 295 萬圓を以つて分流

式下水道事業實施計畫を樹て都市計畫事業として實施今日に至つたのである。

其概要は雨水は從來の排水系統により市内の用排水路に自然放流を爲し、污水は新に下



下 水 處 分 場

水管を埋設して市の東南端祈年町地内に設くる處分場に集收、促進汚泥法により淨化處理の上荒田川に放流するのである。而して本工事に於ては更に一般家庭の便所は總て之を水洗式便所とし糞尿は他の一般污水、工場悪水と同様下水管に放流し處分場に於て淨化處理

せられるのであつて既に市南部及中部に於ける水道管は大部分埋設を竣へ處分場は運轉を開始し、極めて良好なる淨化成績を擧げ得るに至つたので、一般家庭の下水竝に便所改良工事は各町競つて申込をなす盛況にて、既に施行済の家屋に就て見ると蚊、蠅、土鼠の減少著しく、傳染病防止上効果著しく、上水道施設と相俟つて市民の保健衛生上一大貢獻を齎すものとして特筆に値する。

都市計畫

都市計畫區域及地區 都市計畫區域は將來の人口増加、産業交通等の發展を豫想し得る區域に據るものにして岐阜都市計畫區域亦斯くして大正十三年十二月四日決定せられたのである。

即ち現在の岐阜市（舊岐阜市、本莊、日野、長良、島、三里、鷺山、加納、則武、南長森、北長森、常盤、木田）及稲葉郡厚見村を包含する區域にして、區域内面積は約 69,94 平方料に及

ぶ。都市計畫區域内の土地、建物の用途を制限して區域内住民の保健、衛生、並に産業活動の能率を増加せんがための市街地建築物法に依る用途地域制は昭和二年十一月十五日より施行せられた。其地域別面積は住居地域 1,857.49ヘクタール(5,618.893坪)、商業地域は 351.8ヘクタール(1,064.172坪)、工業地域は 556.86ヘクタール(1,684.490坪)、其他は未指定地域である。

風致地區 都市計畫法に基き自然美の維持保存の爲め特定地區内の現

狀並に工作物の改廢に就き制限を設けんとする本地區制は昭和九年十二月四日指定せらる。雄總山、長良川、船伏山、金華山、前一色山、加納城址一帶の六ヶ所にして地區内面積は 1,315.75ヘクタールに達する。

都市計畫事業 本事業の概要を示せば下記の通りである。

(第一次) 岐阜都市計畫事業
昭和九年一月十三日内閣認可

一等大路第二類第一號線(金町線)街路新設

延長 240米54 幅員 32米72 事業費 316,571円

昭和十年三月竣工

(第二次) 岐阜都市計畫事業

昭和九年一月十三日內閣認可

一等大路第二類第一號線(金町線)街路新設

延長 528米54 幅員 27米27 事業費 413,784円

昭和十一年三月竣工

(第三次) 岐阜都市計畫事業

昭和十一年七月十三日內閣認可

二等大路第一類第二號線(徹明長線)街路新設

設

延長 1,214米25 幅員 24米55 事業費 808,944円

二等大路第一類第三號線(美江寺、六條線)街路新設

延長 660米 幅員 18米 事業費 123,930円

右は昭和十一年度より昭和十五年度に至る
繼續事業として執行中のものにして本年度内
に竣工の豫定なり。

(第四次) 岐阜都市計畫事業

二等大路第二類第一號線(徹明、佐兵衛新田線)街路新設

延長 1,120米 幅員 22米

二等大路第一類第二號線(縣廳前線)街路新設

延長 146米 幅員 18米

二等大路第二類第二號線(真砂、岩地線)街路新設

延長 928米 幅員 15米

二等大路第二類第四號線(岐阜、笠松線)街路新設

延長 478米 幅員 22米

右四路線を總事業費 1,067,640圓にて昭和
十五年より四ヶ年繼續事業として執行すべ
く內閣に事業認可申請中である。

岐阜都市計畫公園事業

昭和九年十一月四日內閣認可

岐阜公園擴張

地積 4,611ヘクタール 事業費 152,292円

金公園建設

地積 0,803ヘクタール 事業費 151,387円

昭和十一年度より五ヶ年繼續事業として執行中にして昭和十五年度中に完成の豫定である。

教育施設

本市は産業都市の實情と時勢の要求に鑑み教育の刷新、生徒並に兒童の體位向上、産業及社會教育の振興及校園設備の充實に鋭意努力してゐる。

校園教育 初等教育、現在本市經營に係る小學校は22校、その兒童數27,432人にして、493人の教員を以て從事せしめてゐる。尙大正十年以來夏季休暇を利用して市内小學校の兒童中虚弱兒童を收容し、其の體育の向上を圖ると共に汎く兒童養護の範を示す目的を以て、毎年夏季聚落を行つてゐる。

青年教育

昭和十年四月青年學校令の公布により青年訓練所と實業補習學校を併合した青年學校數は14校で、生徒數2,109人を算してゐる。又長良實科女學校を長良小學校に併設し修業年限を四ヶ年とし生徒200人餘を容し堅實なる家庭の主婦を養成してゐる。

中等教育

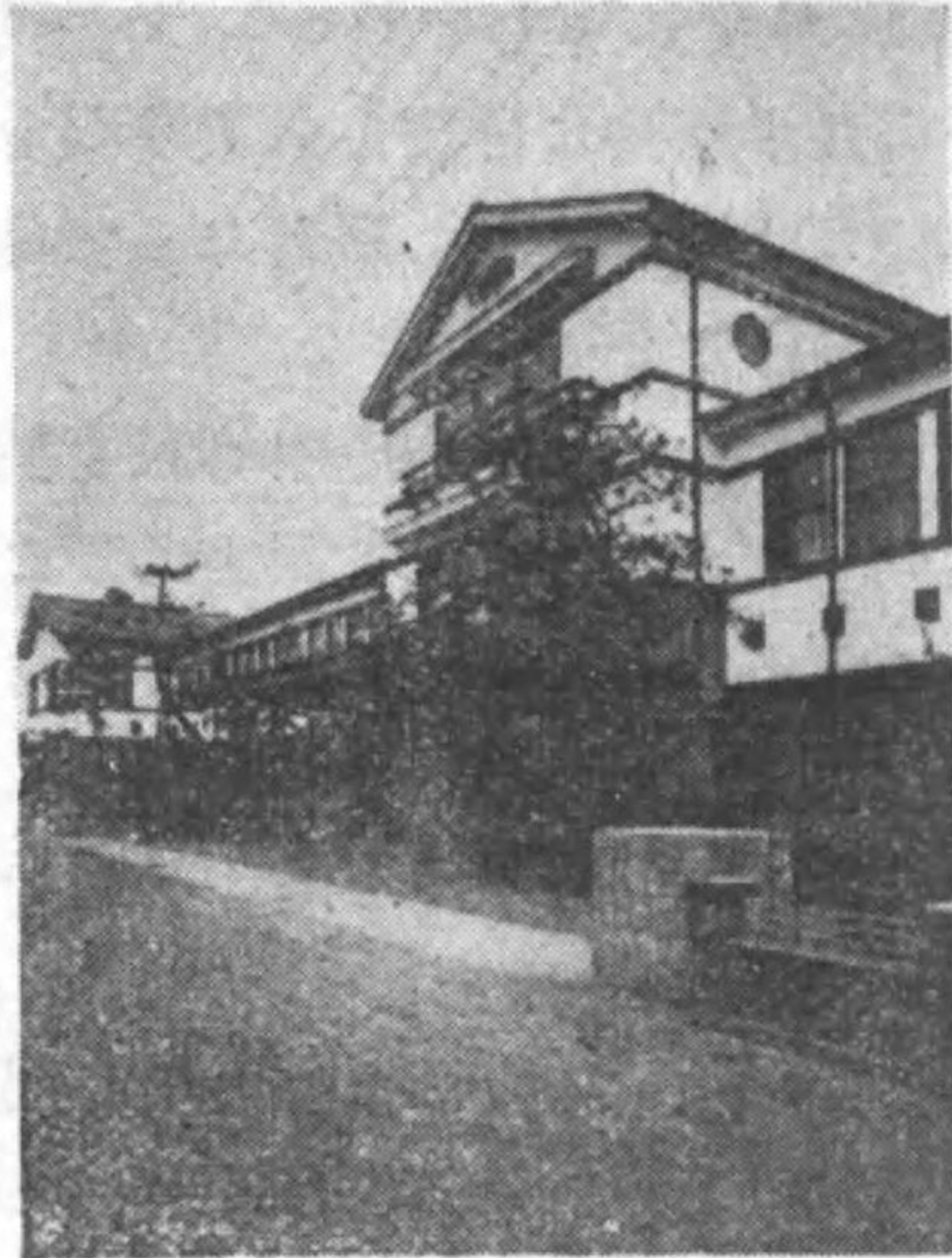
本市の中等教育機關が實業教育を主眼としてゐる。その經營に係るもの商業學校及女子商業學校がある。何れも優秀なる専門的技能を終へ戦時下實社會に其卒業生は不斷の活躍を表はしてゐる。

専門教育

岐阜市唯一の専門學校たる岐阜藥學専門學校は又本邦唯一の公立藥學専門學校として其卓越せる施設、方針の下に時局下新産業に有力なる研究發表をなし我國斯界に貢獻するところ頗る大である。

社會教育

社會教育は校園教育と相俟つて一般市民の教養を高めるものである。殊に現下の國民精神總動員下に於ては其の目的達成には社會教育の振興に俟つべきものが頗る多い。而して本市に於ては公私教化諸團體と聯絡提携して社會教育網を構成してゐる。



岐阜市立岐阜藥學專門學校

その社會教育諸團體の概要を示せば次の通りである。

岐阜市社會教育委員會 社會教育機關の普及竝に社會教育の發達を圖る爲、市に於て

組織す。

岐阜市選舉肅正委員會 公の選舉に關する不正行爲を防止し選舉の肅正を圖り健全なる政治思想を普及する爲、市に於て組織す。

國民精神總動員岐阜市實行委員會 戰時體制下に於ける國民精神總動員の趣旨徹底及び之が實行を期する爲、小學校々下を單位とし市に於て十四實行委員會を結成し實行委員其勞を取る。

地方改良協會岐阜市支會 地方の開發自治の振興を目的として組織せらる。

岐阜市教育會 教育の改良上進を圖る爲組織せるものにして會員770人を有してゐる。

岐阜市體育獎勵會 市民の體位向上の爲體育獎勵を目的として組織せるものにして會員280人を有してゐる。

帝國在郷軍人會岐阜市聯合分會 各小學校校下別に20分會、工場分會4とを以て組織されてゐる。

軍友會 主として豫備役、後備役を終了

せる軍人を以つて組織されてゐる。

岐阜市聯合青年團 各小學校長を分團長とし其の指導の下に身心の修養向上に努め、或は災害防止等の社會奉仕事業に夫々統一的訓練を爲しつゝある。現在加盟分團73あり、團員1,800人を有してゐる。

岐阜市聯合女子青年團 男子青年團の發達に伴ひ女子の統一的訓練も亦必要で各小學校々々下を中心として分團が設置され、女子の本分を全ふすべき修養に努めてゐる。現在加盟分團35、團員2,500人を有してゐる。

岐阜市聯合婦人會 婦人の智徳向上家庭教育竝に戦時下家庭生活の改善向上を圖る目的を以て組織され、現在加盟分團15、會員1萬人に達せんとする状態にある。

岐阜市聯合少年團 少年少女を對象とする社會教育運動團體として各小學校を中心に結成せられ、現在加盟分團17、團員17,000人を有してゐる。

尙この外に日本赤十字社、日本海員救済會

愛國婦人會、國防婦人會、並に神徳會、佛教會等があつて愛國精神の涵養に又社會教化上に活躍してゐる。

更に臨時的事業としては、成人教育の施設として市民講座、宗教講座、中小商工業者指導講座、商店員道場等を隨時開催してゐる。

市民體育の施設としては年々ラヂオ體操の會、市民體育會を開き、又保健指導としてはハイキングを奨励し體位向上に資してゐる。

衛生施設

排泄物の處理處 昭和十四年中、本市の處理した塵芥は6,208,640貫汚泥は1,204,320貫に上り、各戸より排出した塵芥汚泥の60%は埋立或は肥料に利用、他は焼却場にて焼却する。勿論排出量増大に處する爲と保健衛生的見地より昭和十三年度より焼却爐完備を計畫し進行中である。

傳染病豫防救治施設 本市に於ける發生傳染病は赤痢、腸チブス、ヂフテリヤが

多く、之が豫防施設として市立病院が昭和三年六月工費 139,000圓を以つて所謂傳染病院として設置され、其設備の完備に依つて發生患者の收容治療竝に消毒に努むると共に腸チブス、ヂフテリヤ等の豫防注射を勵行してゐる。

結核豫防施設 本市は夙にこれが豫防撲滅に努力し、是が治療の爲特に療養所を設けてゐる。昭和二年十一月長良地内の閑靜、清澄、療養最適の地に設置し、病舎増築も近く、本機能を充分に發揚しつつある。

一般醫療施設 本市の治療機關たる市立療養所は昭和 14 年中患者延人員は 64,646 人を算し、一般市民に經濟上、最大の利益を齎してゐる。昭和十六年早々市西部の本莊の地に市立病院と併合完備の上は醫療上、市民の期待は大なるものがある。

衛生組合 市民共同の力を以て公私組合の向上を圖る爲、警察署と協力して衛生組合設立と之が發展指導に努力を

拂つた結果現在では 450 組合、此の戸數約 2 萬戸以上に達し尙時勢に即應續々設置を見るの實狀にあり。昭和十二年岐阜市衛生組合聯合會の設置成り各種の保健衛生事業に關し着々其の効果を納め、市よりは補助金を交付して健全なる發達を助成してゐる。

其他の施設 墓地及火葬場、墓地は市内各地に散在して居たが、市の發展に伴ひ大正二年市營共同墓地を市東南部上加納山に開設すると共に火葬場を併置したのである。

屠場 大正十二年工費 31,000圓餘を以て改築せるものにて市の東南部上加納山に在り、建物 8 棟、建坪 214 坪で昭和十二年中の屠畜頭數は 3,892 件である。

産業施設

東亞新秩序の建設、東亞共榮圈の確立に一路邁進してゐる我國戰時經濟は、極度の轉換を凡ゆる經濟部門に要求してゐる。政府に於

ては新體制の下に、完全なる統制經濟を強行し、長期經濟戰に即應すべくその體形を整ひつゝある。従つて斯くの如き時局に際し、岐阜市産業機關の活動はその責、重且大にして宜しく國是の認識をより深くし官民、協力、以て岐阜市産業の進展に遺憾なきを期するものである。その事業概要を示せば次の通りである。

中小商工業 全産業の90%を占める中小
時局對策 商工業は時局産業上重大な役割を果たしてゐる。これが指導振興には充分なる考慮が要求される次第である。就中輸出生産力の擴充、重工業の進展、代用品工業の勃興に力を致し、更に統制の指導、商工業組合の助成、商店經營の合理化、工業能率の増進、海外販路の擴張等に萬全を期してゐる。昭和十五年度に於てこれが關係豫算は總額131,178圓を計上す。

商工業組合 商工業組合は同業者の協力を
指導對策 より相互の利益と統制を目的

とし近時物資配給上重要な使命を果たしてゐる。更に商工業の合理化を目的とする小組合の設立指導、組合事務の助成等時局下組合機能の發揚に不斷の努力を拂ひつゝある。

生産品の販路擴張對策 國內は勿論、滿支方面商品見本市に参加、或は上海及北京の日本商工館を通じて夫々商權の伸張を計り更に外貨獲得の見地より、第三國向輸出の振興を計り、海外商品見本、型録輸出向意匠圖案等を蒐集展示して、生産品の考案改良品質の向上等の参考に供する等凡ゆる角度に於て生産品の販路擴張紹介宣傳に資してゐる。

本縣の施設に係る天津斡旋所には囑託員を設置して市況調査、本市物産の販賣斡旋等を委託する外、尙大阪斡旋所にも囑託員を設け目的達成に努めてゐる。

時局對策 現下の經濟事情が變遷極りな
施 設 く従つて其對策は周密なる調査と時局の前途を深く見究め、漸次對應策を樹立する要がある。經濟統制は益々強化され

各種法規は繁雜を極め、物資配給経路は複雑する爲めに業者の内には不知不識の内に法を犯すが如き者が出来る實状にあるので、これが指導に萬全を期し、更に商工業組合の指導物資調整に對し時局の重大なる任務遂行に努めてゐるのである。

**代用品工業
對策** 代用品工業の勃興は近時著しい發展を見つゝあるが、本市に於ても本市の特徴を十分に生かし、優秀代用品の製作に至るべく参考見本を蒐集展示し業者の試作材料に資し之が振興を計るものである。

**應召商工業
者援護對策** 應召商工業者の營業繼續の援護に當らしむる爲、昭和十三年八月設置せられたる産業奉仕委員85人の熱心なる活動に依り一般商工業の相談に應じ互助共濟の實を擧げつゝある。

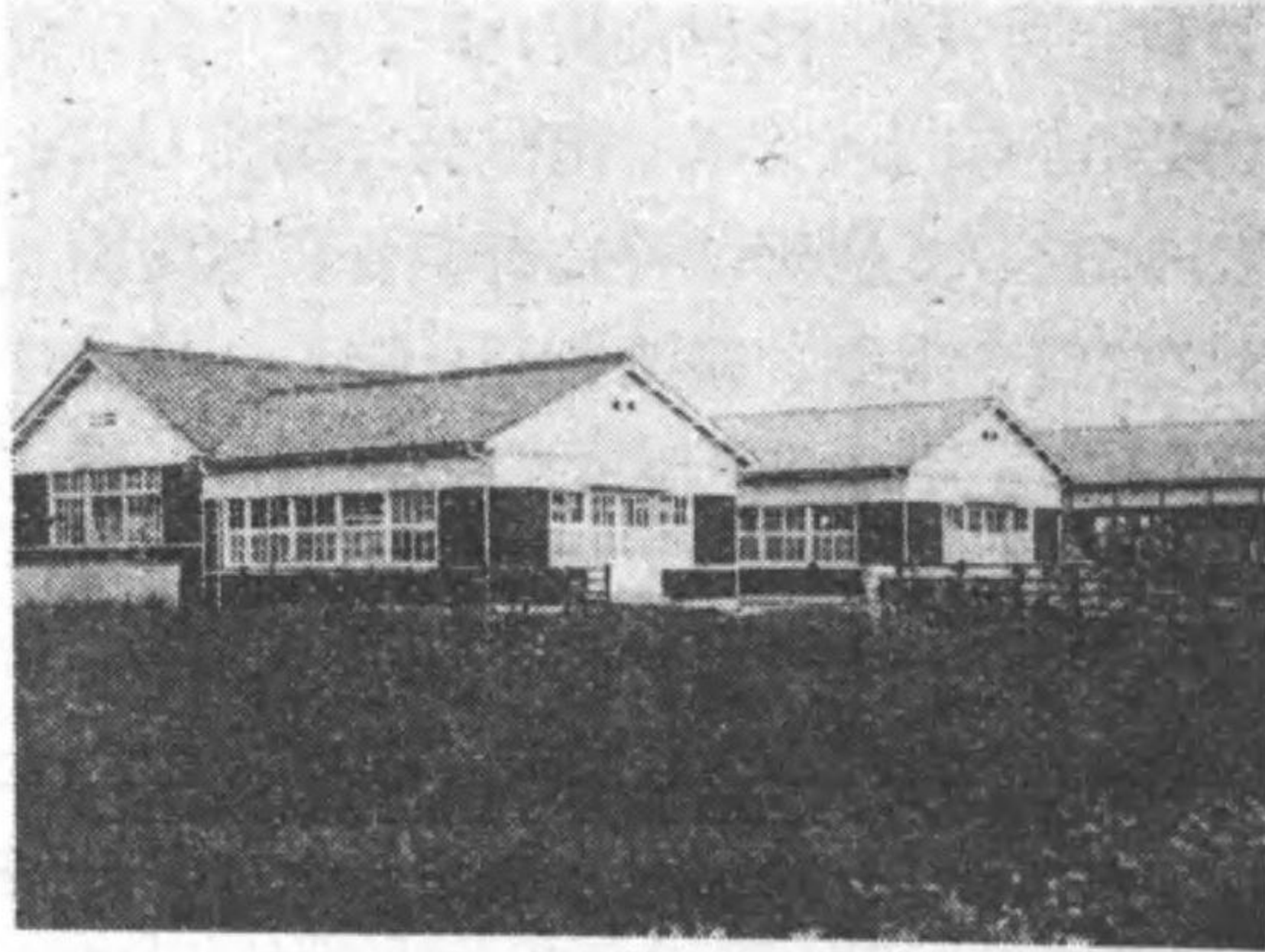
**不振犠牲
産業對策** 之が更生指導の爲商工更生委員を設置し、即ち物資動員計畫に依り著しく壓迫を蒙つた一部業者に對し

て轉業更生に關し、充分の相談指導を爲し其行くべき指針を與へ後顧の憂なからしむべく最善を致してゐる。

**産業指導
施設** 産業指導上に考慮すべき事業は相當廣いが、特に商店經營に關する専門研究家を指導員に囑託して、統制下に於ける經營改善に資する實地指導を始め、講習、講話、座談會等を催し、啓發に努めてゐる。其の他工業能率の講習會、或は店員修養道場等を開設し側面的産業振興に寄與してゐる。

工業指導所 本市は近時急速に發展せんとする重工業方面の指導機關として昭和十三年度に於て工業指導所を設置し木工、金屬工業に對し關係専門技術員をして實地指導に當り、時代の推移に伴ひ軍需品下請、其他平和關係部門に對しては、其技術精度の向上、設備の改善等將來進むべき方針を指導してゐる。尙機械工の不足に對處する爲め熟練工を養成することに専念してゐる。尙

昭和十五年五月設備擴張を行つた擴張後の現
状は、金工、木工の二部とし、金工部に於て
は諸精密機械、工具、測定器、試験器具、熱
處理設備、鑄物設備等を備へ、試作研究、檢



工業指導所

定試験等を開始し、關係業者の指導相談又は
工具機械類の故障破損の修理、補充等斯業の
高度製品製作上に寄與せんとするものであ
る。木工部に於ては諸機械の増設、塗裝排氣
裝置、乾燥ボイラー設備を整へ、高度製品の
製作、意匠圖案の改良、各般の研究、指導に

完璧を期せんとする躍進振りを見せてゐる。

度量衡取締 時局下物資統制並に家庭經濟
の確立を期すると共に商工業

の信用、違犯防止の目的を以て本市に於ては
縣の行ふ度量衡器第一種取締検査の外從來度
量衡器使用者間に於て計量自治取締の組合を
設けると共に度量衡専任取締吏員を設置し、
之が組合員各戸に巡回検査を行ひ、違犯防止
計量思想の普及、使用保管上實施指導に努め
てゐる。

統 計 本市に於ては商工、農林統計
規則に依る産業統計調査員85

人を置き、商工、農林統計は勿論、市行政上
必要なる諸統計資料の蒐集を圖り統計事務の
整備充實を期してゐる。

農業施設 昭和六年四月以降、六回に亘
る隣接11箇村併合の結果、農

耕地2,733町餘、農家5,870戸を算し、所謂都市
農政は本市産業行政上重要な地位を占むる

こととなりたるを以て農務課、岐阜市農會並



に農業各種組合を助成して其の活動を促すと共に戦時下食糧政策に對する大なる割役を完遂すべく官民一致これが助長事業に専念してゐる。其主なるものを示せば次の通りである。

農産物加工の研究及び助成 農産物は其の増殖を圖り農民生活の安定向上を期すべきは勿論、一面又農産加工品を研出することは都市農業の特異性に鑑み、本市に於ては農産物の加工に着想、葡萄酒促進改良醸造研究及柿、無花果、實果等の貯藏研究をなしつゝあるが、桑園改廢地に栽培を奨励したるアスパラガスは近來其の栽培數量も著しく増加したるを以て之が加工助成に努むる外、本市の特産蔬菜たる守口及大根の加工組合には其々補助金を交付し其事業を助成してゐる。

農村機械化奨励 米作地帯に於ける勞力の調整と農家收益の増加を圖る爲、農村の機械化を目途に農業組合を單位として操作

動力器具、産米具等の共同購入に對し助成を行ひつゝあり、率いては現下勞力不足の見地より逐次大農組織の新體制に轉換すべき機運にある。

農業戦時經濟施設 本市に於ても多數農業經營者の應召、竝に軍馬の徵發に依り勞力及畜力の減少を來したのと、購入肥料の高騰に依つて生産力の減退を餘儀なくされたので之が維持増進には一段の努力を拂ふべく指導技術員を新設して軍用大麥、馬糧干草梅干、蕈吹、軍用兔毛皮其の他の軍需品の供出指導、養兔、養豚、牛馬の補充、自給肥料の増産奨励の任に當らしめ、尙戦時應急施設として全市農業部落に勤勞奉仕部及び奉仕班を設置し其の活動に依つて銃後農業生活の安定を圖る爲之が積極的助成方法を講じてゐる。

觀光施設 本市には金華の翠巒と長良の清流があり、俗謡の「岐阜は良いとこ金華山の麓小田の蛙が寝て聞ける」

は良く岐阜市が山紫水明の勝地であることを物語る。此の風光を背景として行はれる長良川の鵜飼は餘りにも有名である。本市の観光施設の概要を示せば次の通りである。



長良川の鵜飼

観光案内所 岐阜驛構内に市設観光案内所を設けて観光客の利便を圖つてゐる。

長良川の鵜飼 其の起源は古く今より一千餘年前延喜年間に始つたものであることが記録に見えてゐる。鵜飼は素より漁業であるは勿論であるが、其の漁法の奇なると

ころから、昔より風流人の觀賞するところとなつたのである。明治時代に至りて川筋の旅館、料理店、或は個人が屋形船を備へ客の需めに應じて鵜飼を見せてゐたのが、やがて遊覧船會社を組織し、次で岐阜市保勝會の經營に移り遂には大正十三年本市の直營するところとなつたのである。現在は長良橋より上流へ十數町の間を觀覽區域と定め、此の區域に於ては専ら遊覧船乗客に對し觀覽せしむるを本位として鵜飼を行ふこととなつた。

岐阜公園 岐阜公園は明治十一年岐阜町民が北部發展策として公園設置を請願したもので、其後明治二十六年岐阜市に移管され、以來自然美に近代的公園美を以て改良面目を一新した。昭和十一年には本市主催躍進博覽會の會場となり、其名を全國に喧傳された。又維新の元勳板垣退助伯遭難の跡及び銅像があつて、彼の有名な「板垣死すとも自由は死せず」の名臺詞と共に當時

を偲ばしむるものがある。名和昆蟲研究所は園内の南隅にあつて昆蟲博物館を有し、其の存在は岐阜名所の一つとなつてゐる。

長良川ホテル 本市は本邦の代表的観光都市たるに鑑み、昭和八年一月長良河畔の景勝地をトし、東洋趣味を加味せる近代的建築様式に依る長良川ホテルを開設して観光都の面目を一新した。ホテルは南面して長良川の清流に臨み、金華の翠巒に對し、眞に雄大なる天然庭園を控へ風光明媚に四時眺望絶佳なること窓に倚り觀る長良川の鵜飼の壯觀は正に全國無比と云ふも過言でない。

公會堂 本市公會堂は市の中央部にあり昭和三年八月竣功したものである。工費25萬圓、「ゴシック」式を加味せる近代復興様式による鐵骨鐵筋コンクリート造で地階共三階建にして建坪467坪、總延坪數1,166坪餘で本市に壯觀を添ふるに充分である。

一般使用室としては、小集會場として會

議室四室、地下室一室、廣間一間、外に貴賓室一室で大講堂は180坪、上部98坪と合し座席2,000を有し、社會教化事業の殿堂として將又娛樂機關として其機能を發揮してゐる。其利用狀況を見ると昭和十四年中に利用回數276回、會合者延人員299,621人に及んでゐる。

社會事業施設

今次支那事變の勃發に依り社會事業の主要性の傾に増大せるに鑑み、本市は率先、厚生課を新設、從來の事業に加へ銃後施設としての機能の發揚に遺憾なきを期すると共に投産事業、物資動員計畫による犠牲産業關係者及歸還軍人に對し轉業轉職の斡旋、資金の融通等を行ふ外、あらゆる銃後諸施設とも緊密なる提携を保ち不斷の努力を致してゐる。本市社會事業の概要は次の通りである。

救護及母子保護事業 本市に於ける救護事業は其補助機關とも云ふべき方面委員

四十四名と緊密なる聯絡をとり最も適正なる實施を見てゐる。昭和十四年度に於ける居宅救護は（生活扶助、醫療救護を含む）は實人員704人、延184,389人、金額36,870圓であり收容救護は實人員93人、延人員19,807人、金額5,332圓である。母子救護法の適用を受けて居つた被救護者中同法該當者は之を分離し方面委員と連絡をとり實施してゐる。昭和十五年に於ける本費豫算は13,964圓である。

市費助産制 所得少き階級者生活は榮養に乏しき食物を攝り、不潔な家屋に居住する者が多い。殊に出産の場合の如き手當少き爲、母體を損したり、虚弱なる子供が生れたりすることが多いのは誠に時局柄寒心に堪へないのである。之が對策として昭和十年度より市費助産制度を實施してゐる。

行旅病人及同死亡人並に精神病者取扱 昭和十四年度に於ける行旅病人及死亡人の取扱狀況は前年度越人員14人、年内收容者26人、年内廢止者27人、年度末現在數13人、

年内死亡者6人であつて其經費は3,000圓である。又精神病者監置取扱狀況は前年度越人員8人、年内監置者1人、年内廢止者8人、年度末現在數一人であつて、其經費は1,600圓を計上してゐる。

經濟保護事業 中産階級以下の市民生活の改善を促し、時局下經濟的安定を與へる目的に於て次の事業がある。

市營住宅 一般住宅難緩和の目的を以て市本は大正八年低利資金176,000圓を以て市營住宅83戸を建設して一般に貸付した、其後昭和六年四月本莊村併合に際し、村營住宅11戸を引繼ぎ、總計94戸となつたが土地區畫整理に伴ひ、昭和十三年度に27戸昭和十四年度4戸を賣却處分して現在59戸となつてゐる。

市營質舖 本機關、明德質舖は市内在住の少額所得者に對する安全且簡易なる金融機關として大正十五年四月より事務を開始した。昭和二年八月公益質屋法の實施に依

り、本市も其の面目を一新するに至る。尙昭和十五年二月加納町合併に依り、加納町營天満屋質舗を引継ぎ、岐阜市加納質舗として繼續營業中である。昭和十四年中の取扱數は

貸付人員 13,761人 貸付金額 165,343円

生産資金貸付 生業を興ふることに依り更生の見込あるも其資金を得ることの出来ない少額所得者に對し、積極的援助を爲す目的を以て昭和十二年五月、岐阜保育會は同會の附屬事業として、生業資金部を設け方面委員と連繫を保ち生業資金の貸付を開始した。

兒童保護事業 健全なる發達を念すると共に他面労働者階級の労働能率を高め率いて家庭の向上に資するを目的としてゐる。本市に於ては厚生課の附屬團體たる岐阜保育會に於て駒爪町保育園、北部保育園、沖ノ橋保育園、華陽保育園の四園を經營してゐる。昭和十四年十二月末現在に於ける在籍園兒童數は 266人である。

附 録

市内の名所舊蹟

國幣小社
伊奈波神社

景行天皇十四年の創建で五十瓊敷入彦命（垂仁天皇皇子）を主神とし、日葉酢媛命、淳熨斗姫命、彦多都彦命を配祀し毎年四月五日に祭祀が執行せられる、武神にして強賊を征討し國利民福を圖り天業を翼け給ふ、社殿廣大、境内には櫻樹、楓木多く四季の眺望絶佳である。社頭に巍然として聳ゆるは明治三十七八年戦役記念の忠魂碑である。（伊奈波通）

縣社金神社

お伊奈波様の妃の宮淳熨斗媛命を奉祀し、境内には名高き「加夫良木の櫻」がある。（金町四丁目）

護國神社

岐阜護國神社は金華山麓の地に五千坪の敷地を以つて昨夏七月工費二十四萬圓を計上着工した。造営工事は、奉賛會の尊き獻金、獻木、作業奉仕とともに數萬人の赤誠を織り混ぜて大體完成を見たので十一月十九日、岐聯管區下二市、十郡の明治維新以降、今次支那事變までの護國の英靈五千餘柱を祭神として合祀盛大なる鎮座祭を執行することになつてゐる。(長良橋)

金華山城趾

金華山頂標高實に海拔 1,127 尺の處に在り、建仁元年二階堂山城守藤原行政始めて城を築き、慶長七年徳川家康に至つて毀城した。現在は模擬城がある。天守閣に登つて眺望すると濃尾の山川風物は一眸に集る。登遊する者多く、休憩所賣店の設備がある。

芭蕉翁遺蹟

俳聖、芭蕉翁嘗て長良川に臨みたる水樓に住み、西湖の十勝と瀟湘の八景とを併せ稱して「十八樓」と名づけたと傳ふ。遺蹟は今は旅館となつてゐるが、庭前には翁の句碑がある。(港町)

このあたり目に見ゆるものは皆涼し

權現山

金華山につづき氣象信號標の建つてゐる山が即ち之である。展望に富み登遊者が多い。中腹に在る時鐘樓からは明治二十九年以來毎日時間々々に必ず時を知らせてゐる。此の鐘は大正十年「時」の記念物として有名になつた。

美江寺觀音

本尊は十一面觀世音の立像で國寶となつてゐる。元正天皇の勅願所で養老元年(千二百年前)の創立で

ある。舊曆正月晦日のお蠶祭には名高いお釜鈴（土製で白赤大小の形）が賣られる。（美江寺町）

瑞龍寺

美濃の守護土岐成頼の菩提所として應仁元年（四百六十年

前）齋藤妙椿の建てたもので有名な禪道の修業場があり。開山は悟溪國師である。（寺町）

東別院

寛永元年凡そ（三百年前）宣如上人を開基として建てられたが、後火災や暴風の災害を蒙つたので大正四年に再建されたのが今の御堂である。（大門町）

西別院

慶長八年凡そ（三百三十年前）准如上人を開基として建てられた。明治天皇、大正天皇が御駐輦になつた

ことがあり、春秋の彼岸には東別院と共に参詣者が多い。（西野町三丁目）

圓徳寺

比叡山の阿闍梨寂圓を開基としてゐるが、創められた年は不明、凡そ三百年前に今の處へ移轉して圓徳寺と改められた。織田秀信が岐阜落城の時に剃髪したところである。信長寄進の鐘もある。（神田町六丁目）

岐阜の大佛

明和年間に創建せられ、高さ四丈五尺、顔の長さ一丈二尺、耳の長さ七尺、鼻の高さ一尺二寸ある。此の佛像は一切經を以て張り之を乾漆したので有名我國隨一と稱せらる。（大佛町）

彌八地藏

往古加賀野井彌八郎秀望が此の邊の土地を購つて岐阜町の

墓地となし、地藏尊を安置したので此の名がある。今は繁華街の中心地となつて、昔の面影を止めぬが、晝夜賽する者が多い。(彌八町)

崇福寺

文明元年の創設であつて開基を美濃の守護土岐成頼及び齋藤左衛門長廣とし、本堂の天井は元岐阜城本丸の床板を移し其の儘用ひたるものなりとの傳説があり「崇福寺の血天井」と云つてゐる。境内には織田信長、信忠の廟所がある。(長良)

鷺山城趾

齋藤道三の居城のあつた址である。現在は城址に記念碑が建ち城廓濠の一部が山麓に残されてゐるに過ぎない。平坦部の中央に位するので展望が広い。小學兒童遠足の好適地である。(鷺山)

柳ヶ瀬

岐阜市に於ける繁華の中心地帯をなし、附近一帯は所謂盛り場であり、金津遊廓は此の西に位してゐる。

縣天満神社

加納天神町にあり。祭神は菅原道真にして大國主、天照大御神、應神天皇を合祀す。社傳によれば文安二年八月齋藤帶刀左衛門利永、加納城を築き、城内に當を勸請し、慶長五年の關ヶ原役後、加納城修築に際し、今の地に遷座すといふ。春日、八幡兩神社は文化年中合祀せるものであり。明治改制後郷社となり。大正十三年九月二十五日縣社に列せらる。

細畑一里塚

南長森細畑に在り。中仙道を挟みて南北に對立し、高さ共六尺餘方三間乃至七八間の敷を有す。塚上の

榎は目通八尺餘のものと一丈三尺餘とのものとあり。高さ各二十餘尺なり。これ慶長九年春徳川幕府命じて東山、東海、北陸、三道各一里ごとに建てしめたるものなり。舊時には中山道筋に皆保存せられしが維新後次第に壊されたり、當塚はその代表的なるものとして特に保護を加ふ。

琴塚古墳 北長森野一色にあり美濃町電車琴塚驛に近し。前方後圓式

古墳にして全長六十三間後圓部に於ける横徑は三十八間ありて前端の幅は二十九間なり。又後圓の直高は三丈三尺、前方部直高は二丈五尺八寸あり。此塚周圍に二重濠を圍し又陪家も存したりき、縣下に存する前方後圓古墳中最も完全なるものの一にして代表的のものなり。特に文部大臣史蹟に指定せらる。

岐阜市施設一覽

	電話
岐阜市役所	3,300(代表)
本莊臨時事務取扱所	1,336
日野臨時事務取扱所	3,674 (共)
長良臨時事務取扱所	642
鳥臨時事務取扱所	1,490
三里臨時事務取扱所	3,664 (共)
登山臨時事務取扱所	3,622 (共)
加納臨時事務取扱所	2,285
則武臨時事務取扱所	4,011
木田臨時事務取扱所	—
常盤臨時事務取扱所	4,186
長森南部臨時事務取扱所	3,132
長森北部臨時事務取扱所	1,401
金華尋常高等小學校	大工町 1,092
京町尋常高等小學校	京町一 721
明德尋常高等小學校	明德町 1,086
徹明尋常高等小學校	金岡町 1,089
白山尋常高等小學校	白山町一 1,048
梅林尋常高等小學校	金龍町六 1,470
本郷尋常高等小學校	本郷町三 199
華陽尋常高等小學校	五坪 2,287
本莊尋常高等小學校	本莊 3,122
日野尋常高等小學校	日野 3,675 (共)
長良尋常高等小學校	長良 3,121
美江寺町	3,300(代表)
木莊	1,336
日野	3,674 (共)
長良	642
近ノ鳥	1,490
六條	3,664 (共)
登山	3,622 (共)
加納	2,285
則武	4,011
木田	—
常盤	4,186
南長森	3,132
北長森	1,401
大工町	1,092
京町一	721
明德町	1,086
金岡町	1,089
白山町一	1,048
金龍町六	1,470
本郷町三	199
五坪	2,287
本莊	3,122
日野	3,675 (共)
長良	3,121

島尋常高等小學校	北島	2,392
三里尋常高等小學校	六條	3,665 (共)
盤山尋常高等小學校	鷺山	3,623 (共)
木之本尋常高等小學校	本莊	2,699
加納第一尋常高等小學校	加納町	2,280
加納第二尋常高等小學校	加納町	2,889
則武尋常高等小學校	則武	—
木田尋常高等小學校	木田	—
常盤尋常高等小學校	常盤	—
南長森尋常高等小學校	南長森	—
北長森尋常高等小學校	北長森	—
長良實科女學校	長良小學校內	3,121
女子商業學校	本郷町	4,187
岐阜商業學校	長良	631
岐阜藥學專門學校	九重町三	3,305
公會堂	美江寺町	3,950 3,951
明德質舖	明德町	4,188
加納質舖	加納沓井町	—
岐阜市診療所	玉宮町一	2,830
市立病院	早田	1,205 3,831
岐阜市療養所	長良	2,895
屠場	上加納山	1,826
火葬場墓地	上加納山	1,128
常設消防事務所	美江寺町	3,130
工業指導所	清	4,196
觀光案内所	岐阜驛構內	2,574
鶴飼遊覽船事務所	港町	63 3,963

金羅山天守閣	金華山	3,834
長良川ホテル	長良	{ 365 4,110 4,111
水道課事務所	美江寺町	3,126 1,594
下水處分場	新年町	3,129

官公衙公共施設

岐阜縣廳	司町	3,500(代表)
岐阜地方裁判所	今澤町	5
岐阜區裁判所	今澤町	5
岐阜供託局	今澤町	5
岐阜刑務所	長良	8
岐阜警察署	美江寺町	4(代表)
岐阜縣警察練習所	夕陽ヶ丘	2,973
岐阜稅務署	殿町三	1,332
岐阜聯	神田町一〇	3,668
岐阜郵便局	神田町一	2,900
岐阜職業紹介所	明德町	1,492
岐阜測候所	加納町	7
岐阜營林署	駒爪町三	1,331
内務省名古屋土木出張所 木曾川上流改修事務所	忠節町五	1,489
名古屋地方專賣局岐阜出張所	加納町	1,035
鐵道省岐阜建設事務所	高砂町四	1,202

日本赤十字社岐阜支部	金町一	360
愛國婦人會岐阜縣支部	金町一	3,800
岐阜縣病院	司町	9
岐阜商工會議所	今小町	1,600
岐阜商工獎勵館	神田町九	790 482
岐阜縣商工館	神田町九	862
岐阜縣農會事務所	司町	3,832
岐阜縣町村長會事務所	司町	2,165
岐阜縣稻葉郡團體事務所	司町	345
岐阜高等農林學校	市外郡加町 那加	56
岐阜師範學校	長良	347
女子師範學校	加納町	570
岐阜中學校	大鍾場	343
岐阜第二中學校	加納町	3,131
岐阜農林學校	市外北方町 北方	114
岐阜高等女學校	西野町五	344
加納高等女學校	加納町	570
岐阜縣圖書館	司町	3,829
岐阜日日新聞社	今小町	{ 28 1,735 1,265
岐阜新聞社	朝日町	{ 132 975 1,482
大阪朝日新聞社岐阜通信部	岩根町	{ 1,212 4,012
大阪毎日新聞社岐阜支局	神田町一丁目	1,280
新愛知新聞社岐阜支局	泉町	147
名古屋新聞社岐阜支局	美江寺町	1,280

覽 一 覽
組 合 業 組 合 (69)
織 繼 關 係 組 合 數 (16)

組 合 名	地 區	電 話	事 務 所 在 地		理 事 長 氏 名
			事 務 所	在 地	
岐阜縣洋服商業組合	岐阜縣下	3,512	米屋町二番地		田中實司
岐阜縣古衣服商業組合	岐阜市一圓	1,592	神田町七丁目		玉田源太郎
岐阜縣羅紗切賣商業組合	岐阜縣一圓	4,380	入ッ寺町一丁目		井上英一
岐阜縣織物商業組合	岐阜縣一圓	1,864	神田町七丁目		高橋慶太郎
岐阜縣毛織物商業組合	岐阜縣一圓	2,211	神田町二丁目	信託ビル内	坂井田鉄二
岐阜縣中郡小賣商業組合	岐阜縣武儀郡上、山縣	4,355	西園町一ノ五		大塚萬治郎
岐阜縣大品卸商業組合	岐阜縣	1,600	美江寺町 商工會議所内		祖父江郁次郎
岐阜縣落棉卸商業組合	岐阜縣	790	神田町九丁目 商工獎勵館内		員 缺

組名	地 區	事 務 所 地		理事長氏名
		電 話	所 在 地	
岐阜縣縫糸小賣商業組合	岐阜縣	—	笹土居町	野原 英一
岐阜縣染張商業組合	岐阜市, 稻葉郡	3,687	元町一丁目	萩野 正藏
岐阜縣足袋卸商業組合	岐阜縣一圓	2,552	美園町四丁目	櫻井 英一
岐阜縣靴卸商業組合	岐阜縣一圓	2,552	同	櫻井 英一
岐阜縣縫製小賣商業組合	岐阜縣一圓	1,992	綠町九	大熊 松三郎
岐阜縣縫製小賣商業組合	岐阜市一圓	1,600	美江寺町 商工會議所内	辻 章一
岐阜縣再整糸商業組合	岐阜市, 彩島郡	—	島、早田	松尾 貫一
岐阜縣屑絲布商業組合	岐阜縣	790	神田町九丁目 商工獎勵館内	山本 義雄

金 屬 關 係 組 合 數 (10)

岐阜縣農蠶機商業組合	岐阜縣一圓	1,225	美園町四丁目	森 貞一
岐阜縣金物卸商業組合	岐阜市, 稻葉郡	645	四ツ屋町	棚田 惣兵衛

岐阜縣鋼材特約店商業組合	縣	3,340	神田町九	熊田 辰次郎
岐阜縣蓄音器商業組合	縣	3,710	神田町四(日吉屋)	高見 秀吉
岐阜縣鐵器地方間屋商業組合	縣	2,486	徹明通三丁目	松原 六三郎
岐阜縣金物類小賣商業組合	市	4,372	笹土居町	若井 眞一郎
岐阜縣電機商業組合	市	379	徹明通四丁目	川田 由太郎
岐阜縣中央ラヂオ商業組合	市	1,976	神田町九	伊藤 幾太郎
岐阜縣ミシン小賣商業組合	縣	3,779	燕城町	荒川 鎌三郎
岐阜縣機械小賣商業組合	縣	1,900	高野町七丁目	山田 三郎

食 料 品 關 係 組 合 數 (12)

岐阜縣中部牛乳商業組合	岐阜縣, 羽島郡, 武儀郡	2,578	柳川町	古田 慶五郎
岐阜縣鮮魚青果商業組合	岐阜市	3,841	一番町	岩田 悅司
岐阜縣雞肉生鳥商業組合	岐阜縣, 本巢, 山縣, 武儀郡	3,833	寺島一丁目	中村 元次郎

組 合 名	地 區	事 務 所		理事長氏名
		電 話	所 在 地	
岐阜冷菓餅菓子商業組合	岐阜市、稻葉郡ノ一部、本巢郡ノ一部、羽島郡ノ一部	4,273	鷹見町	高井 精司
岐阜縣砂糖卸商業組合	岐阜縣一圓	295	江川町	佐藤 潔
岐阜縣青果乾物類小賣商業組合	岐阜市	4,370	白山町一丁目	大野 茂一
岐阜精肉商業組合	岐阜市、稻葉郡	163	神田町三	山田 勇平
岐阜豆腐商業組合	岐阜市	2,978	燕城町	志知 倉吉
岐阜縣中部砂糖小賣商業組合	岐阜市、稻葉、山縣、本巢、羽島、武儀	3,574	高野町六	森 專三
岐阜穀物商業組合	岐阜市	2,654	長住町三	武藤 嘉門
岐阜麵類飲食商業組合	岐阜市	1,515	神田町三	土田 光次郎
岐阜縣小麥粉卸商業組合	岐阜縣	2,627	元町三丁目	川島 岩次郎

運 輸 關 係 組 合 數(5)

岐阜自轉車運輸商業組合	岐阜市、厚見村	3,838	長住町三	早川 光次郎
岐阜縣自動車タイヤ商業組合	岐阜縣	4,071	金園町九丁目	井上 二男
岐阜縣自轉車タイヤ卸商業組合	岐阜縣	2,370	神田町六丁目	大塚 亮三郎
岐阜自轉車タイヤ小賣商業組合	岐阜市、稻葉郡	2,001	霞町	奥田 喜吉
岐阜縣自轉車卸商業組合	岐阜縣	2,370	神田町六丁目	大塚 亮三郎

燃 料 關 係 組 合 數(4)

岐阜縣揮發油小賣商業組合	岐阜縣	1,868	神田町九	鈴木 鐵太郎
岐阜縣重油小賣商業組合	岐阜縣	1,868	神田町九	野中 一郎
岐阜縣鑛油小賣商業組合	岐阜縣	1,868	神田町九	河田 惣一郎
岐阜縣中部燃料商業組合	岐阜市、稻葉郡、山縣郡、羽島郡	2,115	朝日町九	篠田 勝三

其 他 組 合 數(22)

組名	地	區	事務所		理事長氏名
			電話	所在地	
岐阜木材商業組合	岐阜	市	2,224	加納東木ノ本	中川 森夫
岐阜縣林材商業組合	岐阜	縣	4,286	松鴻町四丁目	久世 勝治
岐阜縣層物問屋商業組合	岐阜	市 <small>稻野, 山縣</small>	4,256	若宮町六	淺井 惣太郎
岐阜縣肥料商業組合	岐阜	縣	2,643	橋本町二	松原 銀作
岐阜湯屋商業組合	岐阜	市	1,645	吉津町	金森 鎌吉
岐阜縣中部タリニング商業組合	岐阜	市 <small>大垣市, 揖斐郡, 加可郡</small>	3,583	加納梅田町	中原 文一
岐阜縣火藥商業組合	岐阜	縣	4,273	鷹見町	奥田 喜吉
岐阜縣飼料卸商業組合	岐阜	縣	4,935	金園町二	伊藤 英一
岐阜洋紙卸商業組合	岐阜	市	1,600	美江寺町 商工會議所	山田 喜兵衛
岐阜縣洋傘卸商業組合	岐阜	縣	1,600	美江寺町 商工會議所	祖父江郁次郎
岐阜縣文具卸商業組合	岐阜	縣	883	美園町一	熊田 敏造

岐阜縣器商業組合	岐阜	縣	—	橋本町	木村助左衛門
岐阜縣化粧品卸商業組合	岐阜	縣	586	元町五丁目	和田 崋
岐阜履物小賣商業組合	岐阜	市	—	元町	山口 孝助
岐阜縣履物卸商業組合	岐阜	縣	1,600	美江寺町 商工會議所	松井 勝太郎
岐阜縣運送用品小賣商業組合	岐阜	市	—	神田町三	林 英一
岐阜旅館商業組合	岐阜	市	936	神田町二丁目 信託ビル内	杉本 甚吉
岐阜縣文具小賣商業組合	岐阜	市	1,883		若山 才次郎
岐阜縣種子卸商業組合	岐阜	縣	1,600	美江寺町 商工會議所	北川 半助
岐阜縣種子小賣商業組合	岐阜	縣	1,600	美江寺町 商工會議所	北川 半助
岐阜縣萬年軍手商業組合	岐阜	縣	1,600	美江寺町 商工會議所	鈴木 政吉
岐阜縣鹽干魚卸商業組合	岐阜	縣	326	元町二丁目	芳村 力次郎

工業組合 (46)

纖維工業關係 組合數(8)

組 合 名	地 區	事 務 所		理事長氏名
		電 話	所 在 地	
岐阜縣人絹織物工業組合	岐阜縣	2,310	菅原町	早野宗太郎
岐阜縣毛織染色整理工業組合	岐阜縣	3,464	神田町	山口道三
岐阜縣 ^{内地向} 染色工業組合	岐阜縣	3,464	神田町	赤堀儀三郎
岐阜縣輸出織物工業組合	岐阜縣	3,464	神田町	赤堀儀三郎
岐阜縣製紐工業組合	岐阜縣	2,765	殿町一丁目	山田宇市
岐阜縣綿染晒工業組合	岐阜市、 ^{稻葉郡} 武儀郡	2,081	忠節町	中村幸吉
岐阜縣足袋工業組合	岐阜縣	2,552	美園町	櫻井英一
岐阜縣布帛製品工業組合	岐阜縣	4,308	常盤町	青山謙三

紙及紙製品工業關係 組合數(5)

岐阜縣提灯團扇工業組合	岐阜市、 ^{稻縣} 山縣郡	1,600	美江寺町商工會事務所	尾關次七
昭和縮緬紙工業組合	愛知縣、 ^{岐阜縣}	476	加納本石町三ノ一	馬淵忠兵衛
岐阜縣機械製紙工業組合	岐阜縣	595	加納	宮嶋善兵衛
岐阜縣紙函工業組合	岐阜縣	2,211	神田町二丁目 ^{ビル内}	說田俊治
岐阜縣防水紙工業組合	岐阜縣	511	米屋町一五	尾藤喜平治

金屬工業關係 組合數(7)

岐阜縣金屬工業組合聯合會	岐阜縣	3,500	岐阜縣廳内	望月止才郎
岐阜縣自轉車工業組合	岐阜縣、 ^{滋賀縣} 岐阜縣	790	神田町九丁目 ^{商工業部}	柳原喜四郎
岐阜縣鑄物工業組合	岐阜縣	489	金屋町一	岡本正樹
岐阜縣金屬機械器具工業組合	岐阜市、 ^{稻葉郡} 岐阜縣	340	神田町九	熊田榮三郎
岐阜縣リヤカ工業組合	岐阜縣、 ^{大垣、岐阜郡} 八幡村、 ^{今渡、竹分島}	2,003	安良田町六	伊藤春吉

組 合 名	地 區	事 務 所		理 事 長 名
		電 話	所 在 地	
岐阜縣農機具工業組合	岐阜縣	4,356	泉町三九	淺野 光重
岐阜縣中部板金加工工業組合	岐阜市、稻葉、山縣、羽島ノ一部	—	金町一	田中 菊太郎

木 工 業 關 係 組 合 數(5)

岐阜縣木工工業組合聯合會	岐阜縣	3,500 (呼)	岐阜縣廳內	望 月 止才郎
岐阜縣家具建築工業組合	岐阜市	1,568	伊吹町	玉 田 源太郎
北長森木工工業組合	岐阜市 長森北部	1,401	北長森	林 周 一 郎
岐阜製材製函工業組合	岐阜市	4,363	住之江町二丁目	神 山 鷹 次
岐阜縣箆筭寄長持工業組合	岐阜市、稻葉、山縣郡內	870	上竹町	松 原 喜 入

傘 關 係 工 業 組 合 數(4)

岐阜縣傘工業組合	岐阜縣	1,440	加納安良町	西 村 義 道
岐阜縣傘骨工業組合	岐阜縣	—	加納榮町通	小 川 清四郎
岐阜縣傘仕揚加工工業組合	岐阜縣	1,994 (呼)	松鴻町	棚 橋 梅次郎
岐阜縣傘轆轤工業組合	岐阜縣	—	加納天満町	高 橋 新太郎

食 料 品 工 業 關 係 組 合 數(7)

岐阜縣製水工業組合	岐阜縣	3	吉野町	加 藤 治 助
岐阜縣製餡工業組合	岐阜縣	1,633	宝津町二	高 橋 吉
岐阜縣中部味噌工業組合	岐阜縣、稻葉、山縣、本巢	1,820	美江寺町 醸造試験器內	淺 野 久 藏
岐阜縣清涼飲料水工業組合	岐阜縣	2,200	宝津町二	熊 田 安五郎
岐阜縣精麥工業組合	岐阜縣	1,003	長旗町二	後 藤 常 吉
岐阜縣菓子工業組合	岐阜市、稻葉郡	3,546	美江寺町 信用組合內	玉 井 經太郎
岐阜縣中部製麵工業組合	岐阜縣、本巢、山縣、本巢、郡上	3,359	金園町七	加 藤 玉 次郎

組名	地 區	事 務 所		理事長氏名
		電 話	所 在 地	
岐阜縣製靴工業組合	岐 阜 縣	2,532	安良田町四	水野 磯 一
岐阜縣再製タイヤ工業組合	岐 阜 縣	4,306	鷹見町	木村 文 藏
岐阜印刷工業組合	岐阜市, 大垣市	—	室町	河田 貞次郎
岐阜縣瓦工業組合	岐 阜 縣	—	港町	井深九左衛門
岐阜縣セメント瓦工業組合	岐 阜 縣	790	岐阜商工獎勵館内	武藤 恒三郎
岐阜縣コンクリート土管工業組合	岐 阜 縣	790	同	土岐井 竹 次
岐阜縣コンクリート製品工業組合	岐 阜 縣	3,096	徹明通一丁目	岡部 惣太郎
岐阜縣箆線統工業組合	岐 阜 縣	—	神室町三	戸崎 海 助
岐阜縣厨ゴム利用製品工業組合	岐 阜 縣	—	泉町	細田 清 一
岐阜縣土木建築工業組合	岐 阜 縣	3,825	徹明通六丁目	遠藤 健 三

其 他 組 合 數(10)

申 合 組 合 (49)

組 名	地 區	事 務 所		理事長氏名
		電 話	所 在 地	
岐阜縣書籍雜誌商組合	岐 阜 縣	—	神田町五	淺野 さかゑ
岐阜石炭商組合	岐 阜 市	524	高砂町一	丹羽 清 入
岐阜稻古物商組合	〃	1,934	矢島町一	小林 勝 平
岐阜疊商組合	〃	1,934	矢島町一	小林 勝 平
岐阜靴行商組合	〃	1,251	神田町二	梅田 壽太郎
岐阜古着商組合	〃	755	矢島町一	山田 銀次郎
岐阜市洋服商工組合	〃	2,008	本町一	山田 勝之助
酒類統制會岐阜支部	〃	1,129	神田町一	宮崎 利 雄
岐阜菓子業組合	〃	2,263	神田町五	熊田 友 吉
岐阜陶磁器商組合	〃	1,970	金屋町二	後藤 久次郎
岐阜紙業組合	〃	129	玉井町	松井 三治郎

組名	地區	事務所所在地		理事長氏名
		電話	地址	
岐阜北部理髮業組合	岐阜市	—	伊奈波通二	井上權一
岐阜第一理髮業組合	岐阜市	—	大門通	山吉金一
川北建築業組合	岐阜市北部	—	長良	古田藤次郎
岐阜建築業組合	岐阜市	—	柳生町	寺本金次郎
岐阜建築業組合	岐阜市	—	高野町六	鷺見兼五郎
岐阜木被製箱業組合	岐阜市	—	大正町二	山本幸一
岐阜塗裝業組合	岐阜市	3,195	千手堂	玉井幸八郎
岐阜表具業組合	岐阜市	—	吉野町三	橋本省太郎
岐阜製本業組合	岐阜市	—	秋津町	伊藤銀三郎
岐阜縣藤商工組合	岐阜縣	2,743	元町四丁目	橫幕春吉
岐阜縣皮眞材料商組合	岐阜縣	3,552	神室町	粥川秋太郎
岐阜縣和樂器商組合	岐阜縣	421	神田町一	森佐一郎

岐阜縣鏡眼商組合	岐阜縣	1,650	柳ヶ瀬町三	木方四郎
岐阜縣時計眼鏡商組合	岐阜縣	1,329	若宮町四	岩田永且
岐阜縣玩具商組合	岐阜縣	2,586	柳瀬四百貨堂內	廣瀬松五郎
岐阜市硝子器商組合	岐阜市	45	美園町四	中川喜三郎
岐阜縣化粧品自治會	岐阜縣	1,298	柳ヶ瀬四	長谷川
岐阜縣筆筒長持雜貨商組合	岐阜縣	687	金屋町一	山崎增太郎
岐阜縣家具販賣組合聯盟	岐阜縣	3,710	神田町四	土岐芳次郎
岐阜縣荒物卸商組合	岐阜縣	1,670	美園町三	高橋金次郎
岐阜縣蠟燭販賣組合	岐阜縣	85	笹土居町二	村木東一
岐阜縣佛壇佛具商組合	岐阜縣	918	金屋町	堀松三郎
岐阜縣佛壇佛具商組合	岐阜縣	2,877	金屋町二	河田金次郎
岐阜縣樂器商組合	岐阜縣	300	神田町一	伊藤榮治
岐阜縣箒東子菓子製造組合	岐阜縣	—	金園町六	武田榮吉

組名	地 區	事 務 所		理事長氏名
		電 話	所 在 地	
岐 卓 縣 帽 子 卸 商 組 合	岐 卓 縣	—	今小町	馬 正 治
岐 卓 縣 印 版 業 組 合	〃	—	若松町	奧 住 金 松
岐 卓 縣 萬 年 筆 商 組 合	〃	3,214	若宮町四丁目	速 水 榮
百 貨 店 組 合	〃	3,250	柳ヶ瀬四丸物	山 口 義 治
岐 卓 市 鹽 小 賣 人 組 合	岐 卓 市	333	山口町	安 田 健 次 郎
岐 卓 市 煙 草 小 賣 人 組 合	〃	559	神田町五	長 良 源 太 郎
岐 卓 市 茶 業 組 合	〃	1,395	今小町	林 六 藏
岐 卓 市 質 屋 業 組 合	〃	—	眞砂町入	石 田 密
岐 卓 市 口 入 營 業 組 合	〃	—	雲雀町	吉 田 佐 藤 治
岐 卓 市 喫 茶 食 堂 組 合	〃	—	長佳町一	河 村 寅 吉
岐 卓 市 料 理 業 組 合	〃	120	神田町六	鷺 見 勇 入
岐 卓 純 喫 茶 組 合	〃	3,778	日之出町一	不 二 角 田 文 平
岐 卓 無 席 飲 食 店 組 合	〃	924	日之出町二	田 中 宇 兵

主 力 會 社 工 場

工 織 工 業 (工場數18)

場 (56)

名 稱	所 在 地	電 話	主 力 事 業
片倉製絲紡績株式會社岐卓製絲所	青 柳 町	486 585	生絲製造
片倉製絲紡績株式會社美濃工場	〃	〃	〃
共同毛糸紡績株式會社岐卓工場	眞砂町+三丁目	372 4,031	毛糸、毛織物紡織
共 同 毛 織 株 式 會 社	〃	1,374	毛織紡織
日 本 毛 織 株 式 會 社 岐 卓 工 場	鶴田町三丁目	750 1,312	毛製品紡織
大 日 本 紡 績 株 式 會 社 岐 卓 工 場	五 坪 町	1,050	綿絲布紡織

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
日本毛糸紡績株式會社第一工場	本	雨 躰	841	毛糸、毛織物紡織
日本毛糸紡績株式會社第二工場	宇	佐、海 草	954	〃
鐘淵紡績株式會社岐阜製絲工場	本	莊	1,094	綿糸紡織
新興人絹株式會社岐阜紡績工場	本	莊	3,082	人綿、スフ、絲布ノ紡織
富士瓦斯紡績株式會社岐阜工場	加	納	765	綿糸布紡織
三和練染株式會社 江崎 貞吉	高	野町五丁目	2,181	織物、精練、染色、整理
朝日毛糸紡績株式會社	加	納水野町	549	毛糸紡績
岐阜縣精練株式會社 齋藤 顯	本	莊	377	輸出絹織物精練業
日本人絹染色聯合株式會社岐阜代行所	神	田 町 七	3,464	〃
東洋被服株式會社 熊田 乙吉	清	住 町	3,386	綿・スフ・毛・織物ノ數種加工
岐阜絹織物株式會社高橋慶太郎	金	町六丁目	79	絹織物製織
大同織物販賣株式會社熊田乙吉	金	町六丁目	4,085	各種織物製織

金屬工業 (工場數 6)

加	納	電話	事業
柳原商事株式會社加納工場	加	882	自轉車部分品製造
岐阜計器株式會社 松岡庄太郎	橋本町二丁目	1,064	度量衡器ノ製作
金華鑄鋼株式會社 大野 弘一	金町八丁目	2,368	鑄鋼、鑄鐵全般ノ製作
興亞製鋼株式會社 梅田 多平	清	1,590	各種鑄鋼事業
株式會社美濃ニツケル所 中垣政治	安良田町六丁目	3,939	金屬鍍金、防蝕
合資會社高木電線製造所 高木房吉	松 鴻 町	3,076	電線製造

機械器具工業 (工場數 16)

旭興業株式會社	竹 中 三 郎	1,117	工具製作
株式會社東邦社	久保田 秀一	2,290	工作科用品ノ製作並販賣

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
株式會社	岐阜工作機製造所 兒玉保一	六條	971	工作機製作
東海重工業株式會社	木村嘉助	六條	4,242	鐵工業
笹倉重工業株式會社	笹倉健太郎	安良田町	2,810	火造(鍛治)業
松原鍛工株式會社	松原六右エ門	徹明通三丁目	1,562	自動車部分品製作
東亞內燃機工業株式會社	戶崎憲三	縣	1,894	鐵工
株式會社	飯田製作所 渡邊義吉	松下町	2,205	工具チャック製作
株式會社	日本精機工作所 大堀重郎	安良田町六丁目	2,136	工作機其他製作
合資會社	岩田鐵工所 岩田幸七	長住町一丁目	799	銅、鐵、機械工具
合資會社	栗田辰治郎商店 熊田辰治郎	安良田町一丁目	2,205	工具製作
合資會社	日本工作所 大堀重郎	安良田町六丁目	1,153	精密機械製作
金華機械株式會社		加納本石町	489	金物製作
株式會社	鍋屋鑄造所 岐阜卓營業所	金屋町一丁目		

東海電機株式會社 岐阜營業所	神田町一丁目	電氣器具製作
合資會社 有功社 岐阜支店	神田町一丁目	電氣工事
		494

製材及木製品工業 (工場數 5)

丸岐木材株式會社	柿内 與吉	橋本町一丁目	1,222	製材、現木製品業
美濃木材株式會社	池戸 嘉一郎	上材 木町	669	木材業
丸入木材株式會社	加藤 義雄	高野町八丁目	3,088	木材業
合名會社	國六材木店 國井貞一	高野町七丁目	926	製材業
岐阜卓木材株式會社 岐阜支店		住ノ江町一	787	〃

食料品工業 (工場數 4)

岐阜醬油釀造株式會社 高橋三也	清住町二	1,302	味噌、溜製造
-----------------	------	-------	--------

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
山川製飴株式會社	川原德平	高野町八丁目	370	水飴製造
合資會社松波製飴所	松波淺吉	本 莊	1,227	〃
敷島パン株式會社	岐阜卓宣傳所	今 小 町	1,514	製パン
其他ノ工業 (工場數7)				
日本電力株式會社	岐阜三里變電所	三 里	807	電力供給
美濃製氷冷蔵株式會社	赤座兼吉	吉野町三丁目	994	製氷業
大日本製氷株式會社	岐阜工場	中 吉 町	261	〃
日本水産株式會社	岐阜冷凍工場	〃	184	〃
西濃印刷株式會社	岐阜支店	七 軒 町	62	印 刷
伊賀傘株式會社	岐阜工場	祈 年 町	2,634	雨傘製造
特種製紙株式會社	岐阜工場	眞砂町+三丁目	3,346	加工紙ノ製造

商 事 會 社 (119)

織 維 織 物 業 會社數(13)

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
岐阜繭糸株式會社	澤田文治郎	神田町八丁目	29	繭糸、屑物仲立
株式會社堀江商店	堀江國太郎	神田町八丁目	966	織物卸商
合資會社大慶商店	高橋 俊也	美國町四丁目	30	絹、人絹織物卸商
合資會社川富商店	鈴木 英一	高砂町五丁目	242	生糸、人絹、絹袖仲買
合名會社井上商店	井上 英一	矢島町二丁目	621	羅紗、洋服販賣
合名會社荒井羅紗店	荒井 彌一	若宮町三丁目	715	綿、絹、毛織物販賣
合名會社玉菱鈴木商店	鈴木政吉	笹 土 居 町	501	太物洋反物販賣

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
合名會社	笹五吳服店 篠田 五平	美園町三丁目	51	吳服販賣
合名會社	柳橋吳服店 柳橋源左エ門	柳ヶ瀬町	1,115	〃
合名會社	みのしげ 川口 繁一	柳ヶ瀬町	1,038	〃
合名會社	堀甚商店 堀 太一郎	吉野町四丁目	701	人絹、縮緬、絹紬、織物販賣
株式會社	山本仁商店 岐阜營業所	本町三丁目	162	織物各種販賣
株式會社	松坂屋 岐阜營業所	本町三丁目	350	織物各種

金融、保險業 會社數(32)

株式會社	日本勸業銀行 岐阜支店	神田町二丁目	123	銀行業
株式會社	名古屋古屋銀行 岐阜支店	神田町三丁目	110	〃
株式會社	不動貯蓄銀行 岐阜支店	神田町五丁目	212	〃

株式會社	愛知銀行 岐阜支店	神田町五丁目	877	銀行業
株式會社	十六銀行	神田町九丁目	16	〃
株式會社	岐阜貯蓄銀行	米屋町	770	〃
株式會社	大垣共立銀行 岐阜支店	神田町四丁目	217	〃
岐阜無盡株式會社		今小町	583	無盡業
兩福無盡株式會社		司町	4,190	〃
養老無盡株式會社		神田町一丁目	2,306	〃
幸無盡株式會社		長旗町一丁目	1,831	〃
仁壽生命保險株式會社 岐阜事務所		神田町六丁目	468	〃
住友生命保險株式會社 岐阜支部		秋津町	—	保險業
安田生命保險株式會社 岐阜支部		今澤町	1,107	〃
有隣生命保險株式會社 岐阜支店		金町六丁目	4,079	〃
		神田町一丁目	4,063	〃

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
日本生命保險株式會社	岐卓出張所	神田町四丁目	1,841	保險業
第一生命保險株式會社	岐卓出張所	神田町六丁目	4,142	〃
昭和生命保險株式會社	岐卓支部	徹明通二丁目	—	〃
三井生命保險株式會社	岐卓出張所	神田町六丁目	1,589	〃
野村生命保險株式會社	岐卓支部	徹明通三丁目	2,296	〃
日本動産火災保險株式會社	岐卓出張所	白木町	1,942	〃
常盤簡易火災保險株式會社	岐卓出張所	美園町二丁目	—	〃
日本簡易火災保險株式會社	岐卓支部	吉野町五丁目	3,168	〃
矢野合資會社	矢野嘉右エ門	上太田町	127	不動産、證券買賣
日下部同族會社	日下部久太郎	米屋町	868	有價證券利殖
株式會社	浩榮社	松屋町	37	金融利殖

岐阜金融株式會社	阿部米治	徹明通四丁目	1,468	金融業
中央土地株式會社	岡田儀一	吉野町四丁目	4,102	土地建物、金融
岐阜信託株式會社	日下部久太郎	神田町一丁目	226	信託業
岐阜不動産株式會社	澤田文治郎	神田町八丁目	29	土地、建物、金融、證券買賣
大成株式會社	武藤嘉門	神田町八丁目	116	有價證券利殖
大成肥料株式會社	武藤嘉門	神田町八丁目	116	有價證券買賣

金屬、機械器具業 會社數(12)

共和商事株式會社	野中進一	眞砂町九丁目	1,709	電氣器具材料
株式會社	弘光舍 伊東吉三	神田町九丁目	1,337	電氣工事請負材料販賣
第一岐阜商事株式會社	關谷五平	吉野町四丁目	2,025	ベルト及附屬品鋸機械工具
合資會社	松原六三郎	徹明通一丁目	2,486	金物類販賣及附屬事業

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
合資會社	笠原商店 笠原憲一	神田町八丁目	2,443	自轉車部分品
合資會社	美濃電機商會 小森喜六	神田町二丁目	575	電氣機械器具販賣
合資會社	笠井仙入商店 笠井仙入	神田町五丁目	970	自轉車部分品用品販賣
合資會社	今廣自動車商會 鷺見忠治	金園町十丁目	1,133	フォード自動車用品販賣
合資會社	柵田商店 柵田惣治郎	四屋町	645	銅鐵商
合資會社	大塚商會 大塚亮三郎	神田町六丁目	2,370	自轉車部分品
合名會社	岡田商店 岐阜配給所	金寶町一丁目	3,409	電氣器具販賣
シンガン	裁縫機械會社 岐阜分店	徹明通一丁目	3,714	ミシン機械販賣

土木建築業 會社數(6)

エント建築工務所 遠藤健三	上材木町	564	土木建築請負
---------------	------	-----	--------

合資會社	安田梅吉	中新町	3,050	木材販賣
三共組	合資材木會社 岩崎竹三郎	忠節町三丁目	201	土木建築木材業
合資會社	大喜多組 喜多福松	金寶町一丁目	346	〃
合資會社	丸工商會 服部秀吉	住江町一丁目	1,661	〃
飛驒物產株式會社	岐阜支店	長佳町二丁目	769	木材一般及附屬事業

食品業 會社數(13)

大一海陸物產株式會社	岩田悦司	金園町一丁目	210	鮮魚青果販賣
丸果海陸物產株式會社	鈴木謙一	高砂町五丁目	1,177	青果物委託販賣
株式會社	岐阜海產市場 芳村力次郎	長旗町	732	海產物委託販賣
合資會社	嘉壽美館 加藤商店 加藤角太郎	神田町十丁目	245	鐵道構内營業
合資會社	渡邊實吉商店 渡邊實吉	神田町八丁目	250	米穀販賣
合名會社	櫻井德三郎商店 櫻井德三郎	神田町六丁目	14	〃

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
合名會社山中	芳村商店 芳村力次郎	元町二丁目	326	海運物產物雜詰其他食料品
合名會社錢屋	商店 長沼伊三郎	神田町二丁目	800	食料、乾物、漬物
合名會社玉甚	商店 佐藤 潔	美園町四丁目	13	砂糖、製粉
合名會社伊藤	商店 伊藤 英一	金 國 町	1,471	雜穀、飼料
岐阜鹽業合名會社	梅田 多平	神田町七丁目	1,059	鹽元賣捌業
森永製品東海販賣株式會社岐阜販賣所		常 盤 町	1,779	菓子販賣
株式會社明治	商店 岐阜支店	柳ヶ瀬町三	3,879	食料品

運 輸 業 會社數(14)

岐阜トヨダ自動車販賣會社見田重次	金園町九丁目	2,821	國產トヨダ自動車販賣
日の丸自動車株式會社川上徳三郎	神田町二丁目	1,604	乘用自動車運輸事業

岐阜合同運送株式會社武藤嘉門	吉野町六丁目	2,490	運送業
岐阜自動車株式會社青木知四郎	神田町十丁目	320	旅客運輸
第一合同運輸株式會社船渡佐輔	金 町 六丁目	3,891	貨物自動車運輸業
岐阜トラック運輸株式會社山口軍治	鶴田町三丁目	4,243	貨物自動車運輸業
美濃運送株式會社 井上 勇 治	橋本町一丁目	2,312	運送業
岐阜丸通貨物自動車株式會社 梅田 徳 兵 衛	吉野町六丁目	2,490	自動車運送業
美濃自動車株式會社 藍川清成	神田町十丁目	1,246	旅客自動車運輸業
根尾金華自動車株式會社岐阜營業所	眞砂町一丁目	—	自動車運輸
日本運送株式會社 岐阜營業所	長佳町二丁目	806	乘用自動車業
昭和自動車株式會社 岐阜支店	神田町九丁目	—	自動車運輸
日産自動車販賣株式會社岐阜營業所	神田町九丁目	2,229	乘用自動車販賣
株式會社大池ガレージ 岐阜營業所	金園町十丁目	1,483	自動車ガレージ

名	稱	所在地	電話	主ナル事業
岐阜縣物產株式會社	松井三治郎	神田町八丁目	862	提灯、行燈及紙製品
株式會社	樂天地 澤田文治郎	神田町八丁目	29	土地建物利殖
美濃倉庫株式會社	上松隆 偲	橋本町一丁目	119	倉庫業
平湯溫泉土地株式會社	清 寬	柳 川 町	4,014	土地建物、證券利殖
岐阜土地興業株式會社	土屋禎一	日 之 出 町	1,011	演劇興行
株式會社	百貨堂 中川三右エ門	柳ヶ瀬町四丁目	2,586	建物ノ賃貸
濃飛倉庫株式會社	伏見儀七	橋本町二丁目	390	倉庫業
下呂溫泉土地株式會社	廣瀨文岳	泉 町	—	土地建物ノ經營
柏屋 篠田藥店	篠田 祐喜	元町一丁目	15	藥 品

其 他 會社數(29)

株式會社	宮島商店	宮嶋善兵衛	今町二丁目	27	製紙原料商
株式會社	松竹座	田邊鐵次	白 木 町	3,597	演藝興行
株式會社	岩井屋商店	渡部榮一	吉野町五丁目	703	肥料卸
合資會社	深尾商店	深尾清二郎	湊 町	160	和紙卸
合資會社	瀨古寫眞館	瀨古安太郎	今 澤 町	233	貸家、貸付、寫眞業
合資會社	生田藥店	井上松次郎	笹 土 居 町	380	藥 品
合資會社	高瀨商會	高瀨 豐助	金町八丁目	290	肥 料
合資會社	武藤嘉門商店	武藤恒三郎	神田町八丁目	116	肥料、セメント
合資會社	丸嘉商店	山田嘉兵衛	靱 屋 町	187	和洋紙及紙製品
合資會社	服部商會	妻 鹿 龜吉	吉野町三丁目	1,935	雜貨通信販賣
合名會社	松井商店	松井三治郎	玉 井 町	129	和洋紙及製紙原料
合名會社	松惣分店	西松金次郎	美園町三丁目	1,670	日用品、雜貨
株式會社	帝國興信所	岐阜支所	入ッ寺町ニ丁目	1,377	一般信用調査

名	稱	所 在 地	電 話	主 ナ ル 事 業
合名會社	丸物 岐阜支店	柳ヶ瀬四丁目	3,250	百貨店
合資會社	野中商店 岐阜出張所	神田町七丁目	417	石油、油類
村山石炭株式會社	岐阜出張所	高砂町一丁目	1,561	石炭事業
豐田石炭株式會社	岐阜出張所	高砂町一丁目	—	〃
株式會社	新美商店 岐阜支店	高砂町一丁目	—	石炭、鑛油業
東邦電力株式會社	岐阜支店	今川町二丁目	271	電力供給
名古屋鐵道株式會社	岐阜營業所	長住町二丁目	867	電 鐵 業

昭和十五年十月十五日印刷

昭和十五年十月三十日發行

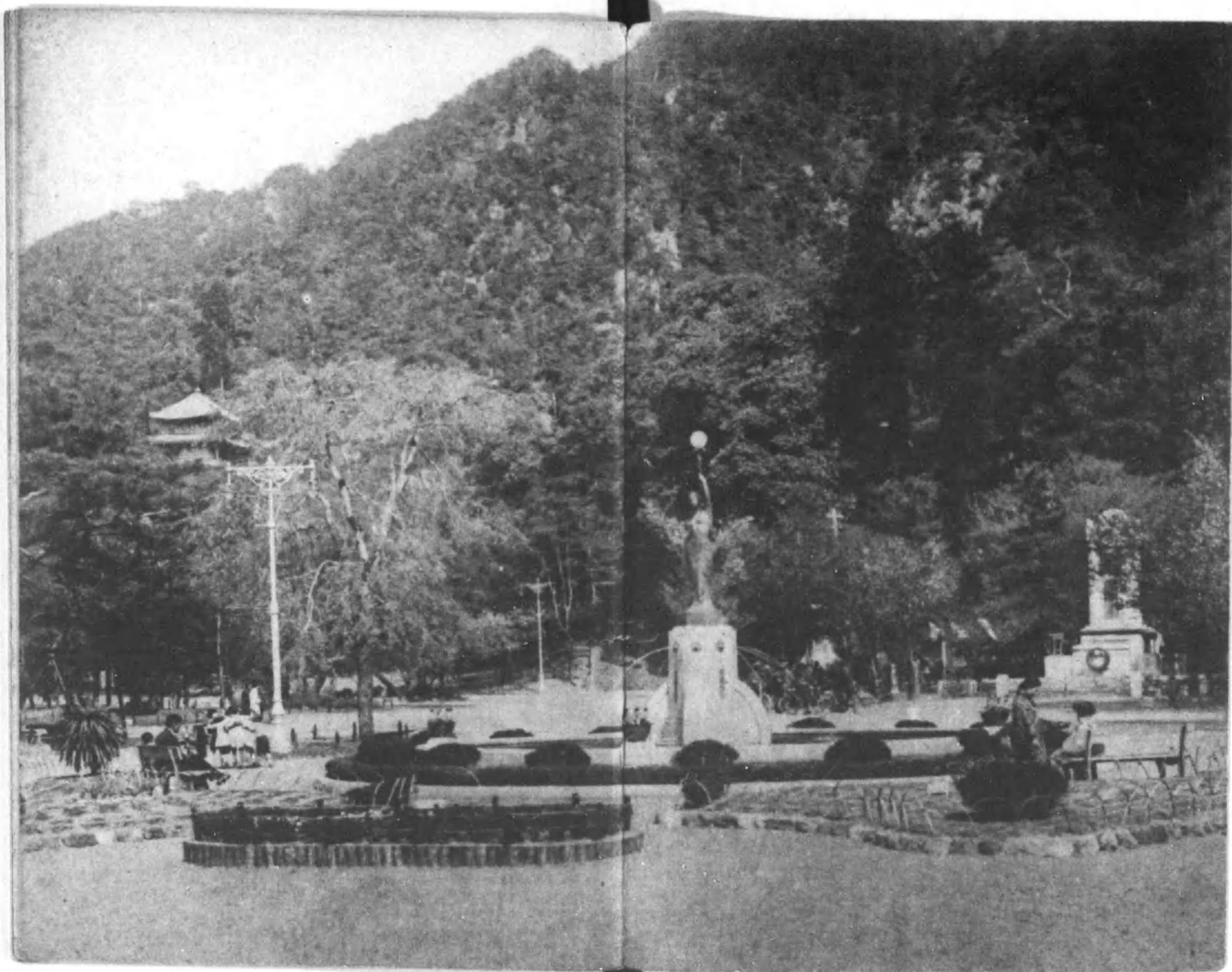
岐 阜 市 役 所

岐阜市七軒町十二番地

印刷者 河 田 貞 次 郎

岐阜市七軒町十二番地

印刷所 西濃印刷株式會社
岐阜支店



14.4-1138



1200701616999

● 4

1138

終